

令和3年3月

乙訓環境衛生組合第1回議会

会 議 録

乙訓環境衛生組合議会

乙訓環境衛生組合議会令和3年第1回定例会会議録

目 次

○出席議員	1
○欠席議員	1
○事務局職員出席者	1
○説明のため出席した者	1
○議事日程	1
○開会	2
○日程 1	会議録署名議員の指名	3
○日程 2	会期の決定	3
○日程 3	管理者の諸報告	3
○日程 4	監査報告第1号 例月出納検査の結果報告について	4
	監査報告第2号 随時検査（工事監査）の結果報告について	4
○日程 5	第1号議案 専決処分の承認を求めることについて （和解及び損害賠償の額の決定について）	5
○日程 6	第2号議案 監査委員の選任について	6
○日程 7	第3号議案 令和2年度乙訓環境衛生組合一般会計補正 予算（第4号）について	7
○日程 8	第4号議案 令和3年度乙訓環境衛生組合一般会計予算 について	21
○閉会	58

乙訓環境衛生組合議会令和3年第1回定例会

議事日程第1号

令和3年3月24日(水)

午前10時00分開議

○出席議員(9名)

向日市	佐藤新一議員	太田秀明議員
	小野哲議員	
長岡京市	富田達也議員	浜野利夫議員
	富岡浩史議員	
大山崎町	島一嘉議員	井上治夫議員
	岸孝雄議員	

○欠席議員

なし

○事務局職員出席者

書記 長谷川 徹 総務課 主査

○地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者(10名)

前川 光	管理者(大山崎町長)
中小路 健吾	副管理者(長岡京市長)
安田 守	副管理者(向日市長)
山田 勝吉	監査委員
河野 一武	事務局長
皿谷 吉彦	会計管理者
古賀 一徳	総務課長
服部 潤	施設業務課長
松井 貢	政策推進課長
藪下 郁夫	施設業務課主幹

○議事日程

日程 1	会議録署名議員の指名
日程 2	会期の決定
日程 3	管理者の諸報告

- 日程 4 監査報告第1号 例月出納検査の結果報告について
 監査報告第2号 随時監査（工事監査）の結果報告について
- 日程 5 第1号議案 専決処分の承認を求めることについて
 （和解及び損害賠償の額の決定について）
- 日程 6 第2号議案 監査委員の選任について
- 日程 7 第3号議案 令和2年度乙訓環境衛生組合一般会計補正予算
 （第4号）について
- 日程 8 第4号議案 令和3年度乙訓環境衛生組合一般会計予算について

○会議録署名議員

向日市 佐藤新一 議員
 大山崎長 島一嘉 議員

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

開会 午前10時00分

○富岡浩史議長 皆さん、おはようございます。会議に入ります前に、今回、大山崎町議会の役員改選によりまして、本組合議会の議員に交代がございましたので、この際ご紹介をさせていただきます。

昨年12月14日付で新たに本組合議会議員となりました島一嘉議員です。

○島一嘉議員 島です。よろしくお願ひします。

○富岡浩史議長 同じく、岸孝雄議員です。

○岸孝雄議員 おはようございます。岸でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○富岡浩史議長 また、引き続き本組合議員になりました、井上治夫議員です。

○井上治夫議員 井上治夫です。どうぞよろしくお願ひします。一言だけ、前回の令和2年第4回定例会を欠席させていただきました、ご迷惑をおかけいたしました。大山崎町議会の役員が決まってないことでの自分の意思を示させてもらったんですけれども、欠席してご迷惑をかけたことをお詫びしておきます。今後は欠席せずに頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

○富岡浩史議長 皆さん、よろしくお願ひいたします。

それでは、本会議に入ります。

ただいまの出席議員数は9名であります。地方自治法第113条の定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。

ただいまから、乙訓環境衛生組合議会令和3年第1回定例会を開会いたします。

日程に入ります前に、この場をお借りして、本日の定例会における対応へのお願ひがあります。

長時間、密閉空間に集まることにより新型コロナウイルスへの感染リスクに備える観

点から、各議案への質疑内容はでき得る限り要点を絞って発言していただきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、日程に入ります。

日程 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 77 条の規定により、佐藤新一議員、島 一嘉議員の両議員を指名いたします。

○

○**富岡浩史議長** 日程 2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期につきましては、本日 1 日限りとすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、よって会期は本日 1 日限りと決定いたしました。

○

○**富岡浩史議長** 日程 3、「管理者の諸報告」であります。

前川管理者。

○**前川 光管理者** おはようございます。本日、乙訓環境衛生組合議会令和 3 年第 1 回定例会を招集させていただきましたところ、議員各位におかれましては、大変ご多忙の中をご参集賜りまして、誠にありがとうございます。

また、ただいま議長からご紹介がありまして、去る令和 2 年 12 月 14 日の大山崎町議会役員改選により、同日付で本組合議員として島 一嘉議員、岸 孝雄議員、井上治夫議員の各議員が選出されました。

お迎えをいたしました議員各位におかれましては、今後とも格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、管理者諸報告をいたします。

初めに、新型コロナウイルス感染症に係る本組合の対応状況についてであります。新型コロナウイルス感染症につきましては、去る 12 月には首都圏を中心に新規感染者数は過去最多の状況が継続したことなどから、政府は令和 3 年 1 月 7 日に東京都など 1 都 3 県を対象区域として、再び「緊急事態宣言」を発出しました。また、1 月 13 日には京都府を含む 11 都府県に対象区域が拡大されました。

このような状況の中、本組合におきましては、職員等の感染防止対策を徹底し、特に廃棄物搬入量が増加する年末年始におきましても、安全・安定した廃棄物処理の継続維持に努めて参りました。

京都府におきましては、2 月 28 日に緊急事態宣言が解除されたところではありますが、引き続き感染防止対策の徹底が求められているところであり、今後におきましても職員等の感染防止対策を徹底し、管内住民の皆様の安定的な生活を確保するため、本組合事業の継続に努めて参ります。

次に、年末年始の廃棄物受入状況についてであります。令和2年度の年末年始における可燃ごみの搬入量につきましては、関係市町の年末特別収集日である12月29日及び31日の2日間で約400トン、また年始の定期収集開始となります1月4日及び5日の2日間で約500トン、これら4日間を合計いたしますと、約900トンが搬入されたところであります。

令和2年度におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、年末年始の搬入量は例年と比べて減少しましたが、通常の約1.5倍の可燃ごみが搬入されております。

本組合におきましては、集中して排出される廃棄物を円滑に処理するため、年末年始におきましてもごみ処理施設の連続運転を継続しており、本年度におきましても一時的に増大する廃棄物の受入れに支障を来すことなく、適正かつ円滑に廃棄物処理を継続いたしました。

次に、一般廃棄物処理基本計画及び一般廃棄物処理施設整備基本構想策定業務の進捗状況についてであります。

令和2年度から令和3年度の2か年で、関係市町と協働で取り組んでおります本業務につきましては、令和2年度の業務といたしまして、廃棄物の組成分析をはじめ、現状把握を中心とした業務を実施しております。

新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言の発令等により、年間計画の一部に変更が生じましたが、令和2年度分の業務につきましては年度末までに計画どおり完了する見込みであります。

今後、令和2年度分の業務についての中間報告をさせていただき予定をしております。

次に、乙訓環境衛生組合災害廃棄物処理計画の策定についてであります。

将来発生が予想されます大規模災害に備え、災害廃棄物を適正かつ迅速・円滑に処理するための方針を示すとともに、国、京都府、関係市町及び民間事業者等の役割分担を明確にし、平時から相互支援体制の構築を図ることを目的とする「乙訓環境衛生組合災害廃棄物処理計画」につきましては、現在、令和2年度末の策定に向けて事務を進めているところであります。

今後、大規模災害が発生した場合におきましては、管内住民の皆様の生活基盤の復旧・復興及び生活環境の改善を早期に図るべく、本計画に基づき関係機関と連携し、迅速な対応に努めてまいります。

以上、管理者の諸報告とさせていただきます。よろしく申し上げます。

○富岡浩史議長 以上で、管理者諸報告を終わります。

○

○富岡浩史議長 日程4、「監査報告第1号、例月出納検査の結果報告について」、「監査報告第2号、随時監査（工事監査）の結果報告について」であります。

監査委員の報告を求めます。

山田監査委員。

○山田勝吉監査委員 おはようございます。それでは最初に、例月出納検査の結果報告をいたします。

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づき、例月出納検査を実施いたしました。検査の対象、時期及び結果等につきましては、お手元にお配りいたしました報告書のとおりであります。

次に、随時監査（工事監査）の結果報告をいたします。

地方自治法第199条第5項の規定に基づき、令和3年1月27日に随時監査を実施いたしました。随時監査は、施設業務課所管の焼却炉定期補修工事に係る工事監査を、公益社団法人大阪技術振興協会に技術士の派遣を得て実施をいたしました。

監査の結果等につきましては、お手元にお配りいたしました報告書のとおりであります。

以上、例月出納検査及び随時監査（工事監査）の結果報告といたします。

○富岡浩史議長 以上で、例月出納検査及び随時監査（工事監査）の結果報告を終わります。

○

○富岡浩史議長 日程5、第1号議案「専決処分の承認を求めることについて」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

前川管理者。

○前川 光管理者 それでは、ただいま上程となりました日程5、第1号議案「専決処分の承認を求めることについて」をご説明申し上げます。

本議案につきましては、地方自治法第179条第1項の規定に基づきまして、公用車の走行中に発生いたしました交通事故について、被害箇所を速やかに補修する必要があるため、損害賠償の額の決定について専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定に基づき、これを議会へ報告し、その承認を求めるものでございます。

事故の概要につきましては、令和2年12月28日午後3時頃、長岡京市内の住宅街におきまして、本組合公用車の左後方のドアが民家のコンクリート塀の角に接触し、コンクリート塀を損傷したものであります。

これにつきましては、相手方との協議の結果、損害賠償額2万7,500円を修理費用として支払うことで示談が成立したところであります。

今後、公用車の運転時には細心の注意を払い、なお一層の安全運転の徹底を図ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上、ご報告とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○富岡浩史議長 ただいま提案理由の説明がりましたが、本件について質疑を行います。

ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、質疑もないようですので、質疑を終わり討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

討論もないようですので、討論を終わり採決いたします。

第1号議案について、原案どおり承認することに賛成の議員は挙手を願います。

(賛成者挙手)

全員賛成。よって、第1号議案、専決処分の承認を求めることについては、原案どおり承認されました。

○

○**富岡浩史議長** 日程6、第2号議案「監査委員の選任について」を議題といたします。

地方自治法第117条の規定により、島一嘉議員の退席を求めます。

(島議員退席)

それでは、提案理由の説明を求めます。

前川管理者。

○**前川 光管理者** それでは、日程6、第2号議案、監査委員の選任について、その提案理由をご説明申し上げます。

本組合の監査委員のうち、議員の中から選任されている監査委員といたしまして、大山崎町の北村吉史議員が選任されておりましたが、去る令和2年12月14日に、大山崎町議会における役員改選が行われたことから、現在、監査委員に欠員が生じているところであります。

このことから、新たに議員の中から選任する監査委員として、島一嘉議員を適任と認め選任いたしたく、地方自治法第196条第1項及び乙訓環境衛生組合規約第11条第2項の規定によりまして、議会の同意を求めるものであります。

島一嘉議員の略歴につきましては、議案参考に記載のとおりであります。地方自治に精通され地方財政にも深い識見を有しておられる方でございます。

よろしくご審議の上、ご同意賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○**富岡浩史議長** ただいま、提案理由の説明がありました。本件について質疑を行います。

ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは質疑もないようですので、質疑を終わり討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

討論もないようですので、討論を終わり採決いたします。

第2号議案について、原案どおり同意することに賛成の議員は挙手を願います。

(賛成者挙手)

全員賛成。よって、第2号議案、監査委員の選任については、原案どおり同意されました。

○

○**富岡浩史議長** 日程7、第3号議案「令和2年度乙訓環境衛生組合一般会計補正予算(第4号)」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

前川管理者。

○**前川 光管理者** それでは、日程7、第3号議案「令和2年度乙訓環境衛生組合一般会計補正予算(第4号)について」のご説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算総額に518万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ15億9,624万1,000円とするものであります。

それでは、補正予算書6ページからの歳入歳出補正予算事項別明細書により順次ご説明申し上げます。

まず、歳入でございます。

2款使用料及び手数料、2項手数料では、承諾事業者数及び直接搬入件数の増加によりまして、ごみ処理手数料で409万6,000円の増額補正をするものであります。

次に、3款財産収入、2項財産売払収入では、再生自転車及び再生家具の販売数が当初見込みを下回ったことから、再生品売払代金で3万2,000円の減額補正をするものであります。

次に、6款諸収入、2項雑入では、ごみ処理施設3号炉が単独で稼働した日数の増加により、売却電力量が増加したことから余剰電力売却料で152万3,000円の増額補正をするものであります。

次、7款組合債、1項組合債では、平成30年台風20号及び21号により被災いたしました大阪湾フェニックス処分場の災害復旧事業費が、当初見込みを下回ったことから、当該事業に係ります一般単独災害復旧事業債で40万円の減額補正をするものであります。

次に、歳出でございます。

7ページ、1款議会費、1目議会費では、会議録作成業務委託料に係ります契約差金といたしまして、12節委託料で43万6,000円の減額補正するものであります。

次に、2款総務費、1目一般管理費では、一般廃棄物処理基本計画等策定業務委託料その他各委託料の契約差金といたしまして、12節委託料で1,174万5,000円の減額補正を、また毎年12月に京都市内で開催されております「京都環境フェスティバル」が、新型コロナウイルス感染症の影響により特設ウェブサイトでのオンライン開催となりましたことから、13節使用料及び賃借料で4万4,000円の減額補正を、また育児休業の取得による巡回健康受診者数の減によりまして、18節負担金・補助及び交付金で6,000円を減額補正し、これらを合わせまして1,179万5,000円の減額補正をするものであります。

また、5目基金費では、歳入の増額及び歳出の減額分を財政調整基金へ積み立てるため、24節積立金で2,152万9,000円の増額補正をするものであります。

次に8ページ、3款衛生費、3目し尿処理費では、槽内清掃委託料の契約差金によりまして、12節委託料で8万5,000円の減額補正を、また隣接する京都府流域下水道終末処理施設へのし尿等の希釈投入量が当初見込みを下回ったことによりまして、18節負担金・補助及び交付金で10万4,000円を減額補正し、これらを合わせまして18万9,000円の減額補正をするものであります。

また、5目リサイクルプラザ費では、自動車損害賠償保障法の改正に伴う公用車自賠責保険料の減等によりまして、11節役務費で1万1,000円の減額補正を、またビン類の搬入量が増加したことによりまして、12節委託料、ガラス処分委託料で2万4,000円を増額補正し、これらを合わせまして1万3,000円の増額補正をするものであります。

また、6目ストックヤード管理費では、その他プラスチックの搬入量が増加したことによりまして、12節委託料、その他プラスチック処理委託料で6万1,000円の増額補正をするものであります。

次に、4款事業費、2目埋立処分事業費では、ごみ処理施設での焼却ごみ量及び焼却灰の発生が当初見込みを下回ったことから、大阪湾フェニックス処分での焼却灰の処理に係ります廃棄物埋立処分委託料322万1,000円を、また焼却灰の運搬に係ります焼却残灰搬出委託料で33万円をそれぞれ減額補正し、これらを合わせまして、12節委託料355万1,000円を減額補正する他、大阪湾フェニックス処分場の災害復旧やその他整備に係ります事業費が当初見込みを下回ったことから、18節負担金・補助及び交付金で大阪湾広域廃棄物埋立処分場建設費負担金44万5,000円を減額補正し、これらを合わせまして399万6,000円の減額補正をするものであります。

次に、3ページの地方債補正についてであります。

歳入でご説明いたしましたとおり、埋立処分事業費において、大阪湾フェニックス処分場の災害復旧事業で契約差金が生じ、一般単独災害復旧事業債を40万円減額補正することにより、地方債の限度額を変更するものでございます。

以上、令和2年度乙訓環境衛生組一般会計補正予算（第4号）の説明とさせていただきます。

できます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○富岡浩史議長 ただいま、提案理由の説明がありました。本件について歳入歳出一括で質疑を行います。ページ数をお願いいたします。

ご質疑ございませんか。

浜野議員。

○浜野利夫議員 歳入歳出、こっちいたりあっちいたり申し訳ないですけど、さっき8ページの款3の衛生費の関係なんですけども、ガラス処分費委託が2万4,000円増、それからその他プラ処理委託料が6万1,000円増となるんですけども、それぞれこの増額に見合う二市一町の量についてどれだけ増えたかを教えてほしいんです。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 ガラス処分の委託では、16.02トンの増でございます。すみません。二市一町別、今手元に数字がございませんのでトータルだけでお伝えします。

16.02トンの増ということです。その他プラスチック処理委託料につきましては、11万2,380キログラムの増ということになっております。また、市町別は後ほど報告させていただきます。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 それとね、ガラス等の処分料とプラ委託料増、今言われたそうしたことだと思うんですけども、そのことでこの時期でこれだけ増という中身として、いろんな要素があるかなと思ったんですけど、このことで事務連絡会とか作業部会は1回でも開かれていますか。やったかやってないかで結構です。確認だけしたいだけなんです。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 作業部会は定期的には行われてますが、コロナ禍の影響についての話はさせてもらってますけども、量についての話というのは特にはしておりません。ただ、承知しているのは、その他プラスチックもそうですけども、月のほとんどで前年度を上回る量が入ってきているということ。ガラスビンやペットボトルも同じです。コロナ禍で多くの方が自宅で飲み食いされていることから、緊急事態宣言に合わせて量も増加しておりますので、それが要因と思われれます。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 していない。

○服部 潤施設業務課長 はい。

○浜野利夫議員 はい。分かりました。特に、コロナ影響等、長岡京市で2月から指定ごみ袋制をやってますよね。この補正をどこで区切ったかによるんですけど、そういうことを含めて今後いろいろ展開が考えられるので、このことでこの補正を打つ前にこれを基に市町会の作業部会とか事務連絡会をこのことでやったかどうかだけ、特に突き詰めて何とかというつもりはなくて、単純に聞いただけなので、特にこのことに限ってはやってないということで分かりました。

次6ページ、歳入の関係なんですけど手数料409万増となっておりますけども、これの内訳を知りたいのですけども、額に対する量の内訳、量と額。承諾事業者それから許可業者、犬猫とかは無理なんですけど直接搬入する分、この3種類で量と額が分かれば知りたいのですけど。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 内訳の方でございます。承諾事業者2通りありまして、現金で払われる承諾事業者も若干おられますので、ちょっと数字的には細かくなりますけれども、まず後納で支払う、承諾事業者327.04トン、29%の増ということになっております。金額的には約820万円の増でございます。

次に現金で支払う承諾事業者については若干ですが9.11トンの減ということになっております。金額的には21万円の減ということになっております。

許可業者につきましては大きく減となっております。446.66トンの減、金額でいきますと約600万円の減ということでございます。

あと直接搬入でございます。こちらにつきましては、99.21トンの増ということになっております。金額にしますと約220万の増ということになっております。

内訳です。

○富岡浩史議長 よろしいですか。浜野議員。

○浜野利夫議員 分かりました。次に7ページ、歳出なんですけど、2款総務費、基本計画策定業務委託、さっきの管理者の説明でも全体の減、説明があったのですけど、このことは全く触れてなかったんですね。この減のこのほとんどがこれの分の減なんです。そのことの理由も述べられないというのは、何でかなと率直に思ったのですけど、この中身でお聞きしたいのですけども、基本計画策定業務委託約1,100万減と大きいと思うんですね。昨日、直接この流れが分からなかったんで確かめさせてもらったのですけど、前年度当初で1,964万の当初予算であり、それだけでは足りないということで債務負担行為で1,000万あまり設定をしたと、前年度当初ですよ。合計2,991万、ほぼ3,000万の予定だったんですね。ところが、ここ同じ年度ですから、この年度末で、今管理者も言われた1,145万減という状態を踏まえて、この新年度の中身の多少かかるんで、新年度予算では436万の予算が今度出てます。予算の中で。トータルすると、結局昨日確認したのですけど2,400万の業務委託というような結論ですよ。新年度予算が400万ぐらいありますから。当初、3,000万ほど近くの予定だったのが、2,400万の業務委託で決着するということになる中身やと思うんですね。

そのことでちょっとお聞きしたいのが、決算年度が9月にならないと出てこないの分からないところがありますけれども、契約ができたからこの減額なり新年度に計上できたんだというふうに思いました。大幅な減になった分について、確認をしたいのですが、12月議会で債務負担行為の設定の変更というのは時期的に無理だったのか、やら

なかったのかどっちなんですか。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 債務負担行為の補正を行わなかったということです。

○浜野利夫議員 えっ、すみません。

○古賀一徳総務課長 行わなかったということです。

○浜野利夫議員 しなかった。それは時期的に間に合わなかったらどうしようもないんですけど、行わなかったというのは何か理由があるのでしょうか。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 債務負担行為につきましては、今回のこの一般廃棄物処理基本計画等策定業務委託が2か年にわたる事業でございますので、予算については1会計年度ごとということで定められております関係から、次年度にわたっての事業ということで、これをあらかじめこの2か年また事業ができるために債務負担行為を設定しているものでございます。

各年度の予算については、予算計上いたしまして予算化いたしておりますので、債務負担行為についてはあくまで2か年にわたっての事業の上限額として設定しているものでございますので、その補正は行わなかったということでございます。

○浜野利夫議員 分かりました。次、そういうことしなかったということを理解したのですけれども、結局、今回この補正が1, 100万出ていて、新年度予算では400万ぐらいで一応決着する。裏を返せばというか契約が終了した後こうなると思うのですが、契約はいつ頃やったのでしょうか。

○富岡浩史議長 松井政策推進課長。

○松井政策推進課長 今回の計画等策定業務の契約につきましては、令和2年4月8日に入札の方を実施させていただきまして、4月15日に契約の方を締結させていただきました。

○浜野利夫議員 分かりました。このときの入札方法は、どんな方法だったのでしょうか。

○富岡浩史議長 松井政策推進課長。

○松井政策推進課長 入札方法につきましては、組合内におけます業者選定委員会の中で、指名競争入札を実施させていただきました。

○富岡浩史議長 以上ですか。

○浜野利夫議員 分かりました。指名競争。これ多分、決算には改めて出てくるんだと思うんですけども、今の指名競争入札ということなんですけども、これだけ額が減ったことは安く上がったけど、ある意味ではよいと思うんですけども、いろんなこの入札、契約の関係でいけば、直接登録業者の制度をつくってないので、各市町の登録業者からというのは大方なってますよね。このことについても、今指名競争といいましたけども、市町の間でこのコンサル関係の登録はかなり多いんですよ。長岡だけ直接分かりませんが、市町全部寄せたらかなりあるので、一般競争入札的にその範囲でやれば、もっ

とたくさんの最初からきっちりした入札の可能性があったのかなと振り返って、決算ではないので今あまり言いませんけど、その方法というのは他になかったんですかね。その指名競争なんですけども、一般競争入札から条件設定で登録業者、市町のかなり数あるから、その中からというのですが、もっと違う方法が取れたかなと、そういうことはあまり予定はされなかったのでしょうか。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 今回の委託業務につきましては、前回の実績におきましても指名競争入札で、他団体で実績のある業者を中心に指名をさせていただいておりましたので、今回につきましても同様の契約方法で選択をさせていただきました。

○浜野利夫議員 分かりました。2年間かけて、ほぼ3,000万近い委託ということに当初なっていたのですけれども、この結果的にはこれだけ減額して新年度予算の計上も含めてかなり安く収まったと、それはある意味でよいことではあるかと思うんですけど、なぜこんなにたくさん減額になったかというのは、どういうふうに考えておりますか。今回の1,000万の減額計上なんですけど。

○富岡浩史議長 松井政策推進課長。

○松井政策推進課長 あくまでもこちらの方の思いといいますか、一番大きな要因といたしましては、今回の業務の中で二市一町のそれぞれの家庭系のごみ、それと事業系のごみのごみの調査が夏場と冬場の年2回、実施をさせていただきました。こちらの経費については、かなり大きなウェイトを占めているところでございまして、今回落札されました業者につきましては、自社で調査部門を持っておられたということが非常に大きな要因ではないかなというふうに思われます。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

○浜野利夫議員 分かりました。それは分かりました。予定価格設定はどういうふうにされていたのでしょうか、これだけ減額になった経過をさかのぼって、予定価格はこういうことで設定したという何か分かりやすい、言えることがあったら知りたいんですけど。

○富岡浩史議長 古賀課長総務課長。

○古賀一徳総務課長 複数業者から徴収いたしました見積もり、それから設計労務単価等に基づきまして設計をいたしております。

○浜野利夫議員 分かりました。それ以上は難しいかと思うんですが。

もう一つ確認しておきたいのは、これだけの大幅な減額になった中身として、もともと予定価格を設定した段階で低入札価格制度とか最低制限価格制度というのは、設定はされていたのかされてなかったのか、どちらでしょうか。

○富岡浩史議長 古賀課長総務課長。

○古賀一徳総務課長 本組合の現状、そのような制度は設けておりません。

○浜野利夫議員 分かりました。今はないと。今後、いろんな特許とかいろんな関係で、随契にならざるを得ない要素も結構あることもそれなりに理解はするんですけど、今後

のいろんな契約できるだけ一般競争入札に近づくことは、過去何回か言った中でそういう方向も言われていますので、今後の契約も考えればこういうことが起こりかねないと言えないわけですね、状況によっては。

そういう意味では、今の市町村全体で全国で9割方はこの低価格制度か最低価格制度、どちらかは取り入れているようです、全国的には。だから特別公共団体が故、今後の契約を考えたら取り入れるべきではないかなと思うんですけど、そういうことを今回踏まえて考えていこうか、それで契約によってはこういう制度を入れておこうかということが考えられないですかね。

○富岡浩史議長 古賀課長総務課長。

○古賀一徳総務課長 今回、入札の結果、入札された金額は業者によって大きく差が開いております。設計は我々の予定価格に比べましても大きく上回るもの、それから大きく下回る業者が複数ございますので、今回落札をいたしました業者につきましても、仕様ごとに業務が確実に履行されるか、そこについてはヒアリングで確認の上、落札決定という形で契約の方をさせていただいております。従前から大きくこのように金額が下回る場合には、事前に業者の方に確認の上、契約を締結するという形を取っておりますが、今議員が申し上げられましたとおり、そういう低入札価格制度等については、今後他団体の実際導入されている内容を踏まえまして、研究してまいりたいと思います。

○浜野利夫議員 それはもう、要望にするので、ものによっては是非検討してほしいと思います。

次に行きます。減額した要素をちょっと確認したかったのが1つです。

もう一つは、この処理計画本体について大丈夫かなと不安が一方で出るんですね。本体のことで確認しておきたいのですが、令和4年度から15年間の計画を立てることになりますよね。この中身は後で言いますが、1・2号炉を含めて組合全体の業務に関わって大きなことがかなりありますよね。ごみの減量、再資源化という、ここだけではなくて全国的課題ですけど、そこも関わって15年間でどんな計画を立てるかというのは、すごく組合にとっては重要だと思うんです。そういう計画を、これだけ減額になって、一方で大丈夫かなと不安があるけど業者の調査力も含めて収まったということで、それで順調にいけばそれでよいと思うのですが、その本体これだけ重要な15年間の基本処理計画の関係で、このことについて前回もいろいろ議論になってましたけどね、正副管理者会議が何回この処理計画で検討されてますか。この基本計画に関わって。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 前回もございましたけれども、正副管理者会議と申しますのは、最終意思決定機関という立場になっております。現在は、今の処理計画につきましては、令和2年度の業務について、あくまでも現状把握を今回させていただいたということでございます。

令和3年度につきましては、将来に向けての計画を立案していくというような状況に

なっておりまいます。ですので、令和3年度におきましては、将来に向けての計画をつくる場合には正副管理者会議を開催していただきながら、ご意見を頂戴したいと考えております。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 その後、決算のときかその前でしたか、太田議員が言うてましたけど、正副管理者会議が1回も元年度決算のときに開かれなかったの、位置づけとしてこれは組合の最高意思決定機関だということが確認されると思うんです、前回で。そういう意味で、それを聞きながらそうだなと思いながら聞いていたのですが、それを踏まえたらこれだけ15年間の重要な処理計画、このことで直接正副管理者会議、組合の最高意思決定機関で、そのことを検討してないというのは非常に重要なことだと思うんですけど、最終確定はまだしてないんですけどね、この新年度予算で400万ぐらいを計上して、これで最終仕上がってくると思うのですが、是非そこまでは正副管理者会議、最高意思決定機関で検討して、よりよいものに仕上げることが必要だと思うんですけど、管理者どうですか。

今後、新年度に向けてこれを決定するまでの間に。

○富岡浩史議長 前川管理者。

○前川 光管理者 おっしゃるとおり、こちらの事務方としては資料を作りまして、正副管理者会議といいますか市町会、そこに情報を提供させていただいて議論の場をつくっていきたいと思っております。

○浜野利夫議員 市町会が、たまたま首長を呼びはって、3つの組み合わせどこかで正副管理になっているか、そこで便宜的に使う、そこはそこで交流したら構わんと思うんですけど、ここはここの組合として独立して正副管理者会議で意思決定機関でやるというのが、この前確認された中身だと思うのでね。仕上がるまでには是非それを別個持って、この重要な15年計画ですからね。是非それはやってほしいなと思いますけど、それはよろしいですか。

○前川 光管理者 はい。

○浜野利夫議員 はい、それなら一応そういう方向でやってもらうということで。

それからもう一つ、一般廃棄物処理計画そのものが令和18年まで長い期間の大事な計画だと思うのですが、これの今出ている計画の中でずっと見直しをしていたんですけど、幾つか大きな問題がたくさん指摘してありました。これをどういうふうに仕上げるかというのは計画の中身で、今後はこの組合にとって大事かなと思ったんですけど、1つは資源ごみのことで、向日市が6区分、長岡京市が11区分、大山崎町が7区分というふうになっているんです。これをどうするかという問題。

あるいは、元年度の決算の資料になりますけど、ごみ分析表によったら平均で紙・布類が47%、ほぼ半分近いんです。中身で。それからプラ類が29%、ほぼ3割、厨芥類11%ぐらい、これがごみ分析表の組合の分析で出ている結果なんです。これをどう

いうふうにしていくかというのが当然、15年計画でいるのではないかなと思うんですけど、令和2年度まだ年度末なんですけど、ここに向けた目標で排出量は12%減、これ平成20年度比で全部出てますけど、それから再生利用率を27%に増やしたいと、最終処分量は14%減にしたいというのが出されてきました。

これらのことを今の計画でそれぞれ目標なり課題が出されていて、それを今度の新しい計画15年間で先に進めていこうとするわけやと思うんです、基本。そういうときに、業務委託はよろしいですけども、今言った当組合がやってきていたいろんな現状とか課題について、こういうふうにしたいという目標の方向性とかは、どういうふうに委託業者に伝えてきていたのでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 もちろん業務発注をする折には、処理計画は、国の法律また市の方で定められている項目が多分にございます。そういった項目をまず策定をしていくと、今ご指摘になりますとおり、従来から乙訓二市一町組合それぞれの課題、そういったものを十分クリアをしていくような内容の施策を新たに展開をしていくということも含めてご提案をいただく、またご提案をいただく中でも提案をいただいた内容につきまして、やはり地域性、十分勘案する中でどれが一番有効性があるのかということもご提案をいただく中で、地域に見合った計画の策定に向けて進めていきたい、そのように考えております。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 今回、これ補正であって、この後予算の新年度審議があると思うんですけど、令和4年から18年までの長期計画で、今言ってきました今の計画の中で課題になっている、例えば議会の中でも議論になっていたと思うんですけども、資源ごみの区分が二市一町で違う問題、良いか悪いかは別にして、この問題を統一していくとか、あるいはこの分類数に合わせていくとか、そんな方向性は委託するにあたって、組合の方向性として普通は伝えるの違うかなと思います。そういうことは、方向性は伝えてはいないのでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 もちろん今の分別区分の場所による違いという部分につきましては、コンサルからの提案というのも十分あるかと思いますが、各市町の収集体制、そういったところを十分踏まえ、それに見合った計画を作っていくというような形で進めてまいりたいと考えております。

あくまでも、コンサルの提案型ということではなくて、乙訓地域に見合った分別回収の体制を構築するというようなところでございます。

ただ、ただいまご指摘でありますとおり、各市町の分別項目のずれがあるというのは事実でございますので、そういった部分につきましては、今後、将来にわたってどういう形ですり合わせをしていくのか、そういったところも十分協議・検討させていただく中

でよりよい形で進めてまいりたい、そのように考えております。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 今、事務局長が言われたように、コンサルの提案型ではなくてというのはすごく大事だと思うんですね。やっぱり積極的に、ここがずっと積んできた業務の経過もあり、市町のいろんな経過も踏まえて、それこそコンサルは確かにプロですけども全部を任さなくて、こちらからどんどん市町との調整も含めて伝えていくということによって、本来目指すところが多分できていくと思いますし、この2年度末で達成予定にしていた、平成24年度比での排出量とか再生利用率とか最終処分量というのも当然、本組合、言わば構成する市町との関係を含めて一番大事な方向だと思いますので、それをできるだけこういう方向で、これをこういうふうにしてほしいみたいな趣旨を伝えながら、しっかりとした計画を立ててもらおうというのが必要だと思いますので、それはお願いしておきますので、よろしくお願ひします。

もう一つ、という方向を受けて、課題の中で幾つか気になることがあったので、これも新年度からずっと関わってくることなのでちょっと確認しておきたいんですけど、課題の1つに有料袋の検討と書いてあるんですね。今の組合の計画の中に、それは検討としてあり得ることだなどと思うんですけど、その中には指定袋の検討というのは一切何も書いてないんですよ。

ところが、有料化はいろんな検討があるけれども、指定袋の検討はこの計画の中には、平成3年までの組合の計画に一切書いてない。でも、先日、長岡京市議会の答弁で、事務連絡会で乙訓の指定袋を決めたという答弁があったので、あり得ないことなんですけど。事務連絡会とか作業部会というのは、乙訓の意思を決定する機関ではないですよ。その確認だけしておきたいんですけど。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 ただいまのご指摘でございますが、今の現在の乙訓環境衛生組合の処理基本計画につきましては、平成18年に策定した処理計画でございます。それが一応平成33年（令和3年）度までの期間で15年間設定をさせていただいております。

しかしながら、その15年が経過する中で、各市町の処理計画が5年ごとの見直しをそれぞれされておられます。その中で5年目、10年目、そして今回見直しをするという形の経過の中で十分事務連絡会の中で協議・検討を進める中で、一側的に有料化に進むのではなく、指定袋を導入する中でごみの減量化促進を図るという方向性を整理をさせていただいたというところでございます。

○富岡浩史議長 浜野議員、先ほど平成3年と言われたのは、令和3年に訂正でよろしいですか。

○浜野利夫議員 はい。

○富岡浩史議長 どうぞ。

○浜野利夫議員 さっきちょっと触れたんですけど、前回の決算のとき9月の、分担金の

話のときに出た正副管理者会議がなかった云々なときに、市町会の話もさっき言われたように、組合の最高意思決定機関正副管理者会議だということと合わせて、幹部会とか調整会議、課題会議というのがあると、この組織上は。その関りで事務連絡会、作業部会というのが市町とのいろんな交流するのがある。しかし、これ事務局長だったかと思うのですが、事務連絡会も作業部会も行政運営の補完機関ではないと言われてるんですね。間違いないですね。前回のとき。別に組織決定機関ではないということ、答弁を振り返ってもらったら分かると思うんですけど、その確認。答弁があったので、したつもりと違いましたか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 組合が定めている補完機関ではないということでございます。

○浜野利夫議員 ですね。だから、あくまで意見調整を行う場として設定されていて、組織としての位置づけではないと、そこの部会で長岡でさっき例を出しましたが、乙訓袋、統一袋を決めたということはありませんよね。

調整は、交流して各市町で決めることはあり得ると思うんですよ。でも、ここの当組合として、その作業部会の中で統一袋を作るということ、そんなことを決められるわけがないと思うんですけど、そこだけちょっと確認をさせてください。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 まず、その指定袋の導入につきましては、各市町が設定をされております廃棄物減量等審議会、その中でそれぞれの首長が諮問をされて、答申を受けられた内容で進めている内容でございます。

それぞれの答申が上がってきた内容を、事務連絡会の中ですり合わせをさせていただいているというところでございます。最終的には、各市町の判断の中での決定されたというところでございます。

○浜野利夫議員 それだけちょっと確認を、要するにその作業部会にしたって事務連絡会でも、乙訓全体のいろんなごみ処理に関わることを決める機関ではないということだけ、再確認をさせてほしかっただけなので、それでよろしいですね。今言われたようなことで、位置づけは。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

○浜野利夫議員 それと、あと課題の中で計画がどうするか出ているかと思うのですが、資源ごみの収集体制の検討とか分別というのがありまして、その中で家庭内の貯留可能容量を考慮した改善があるというふうになっているんですね。確か、そうだったと思うんです。それはどういう方向を検討なり、考えておられるのか、その今の業務委託のコンサルに伝えているのかという、ここの点については何かポイントはあるのでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 どうしても家庭で保管をしていただく期間につきましては、ただいまの分別収集は2週間に1回という状況の中で、やっぱりその他プラスチック類という

のは、かさがどうしてもかさばるところになっておりますので、例えば毎週の収集に切り替えをすとかというところも含めて、今後検討してまいりたいとそうように考えております。

○浜野利夫議員 分かりました。

○富岡浩史議長 よろしいですか。どうぞ。

○浜野利夫議員 それから、リサイクルプラザとプラプラザの改良とか更新ということも検討がいて書いてあるんですけど、この中で今二市一町的にいろいろ課題になっている古紙とか段ボールということはこの中で検討される方向がなっていくのか、この新しい計画の中に、全くそれは別なのかという扱いになっていくのでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 ただいまご指摘の古紙等につきましては、あくまでも処理計画と申しますのは、各市町村それぞれが定める計画でございます。その計画の中で、もちろん組合の方で共同処理をする項目、またそれぞれの分別回収で集団回収とやられる項目、それぞれを整理させていただく中で、それを総合した処理計画を今回作るというところでございます。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 それぞれ課題だと思うので置いておきます。

もう一つだけ、新年度で400万が予算計上されているから完了まで行ってない段階だと思うんですけどね。これ完了行くまでの間に、例えば計画の業務委託業者と組合の側といろんな方向性とか方針を伝える定期的な会議というのは保証というか確保はあるのでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 もちろん、コンサルとの定期的な打ち合わせ会議というのはさせていただいております。それと今回、処理計画につきましては、本組合の方で契約の方はさせていただいておりますが、内容的につきましては各市町の処理計画、組合の処理計画、4つの計画を一緒につくるという内容で進めさせていただいているところでございますので、コンサルとの打ち合わせにつきましては、それぞれの市町で打ち合わせをしていただく項目、また四者団体共通で打ち合わせをしなければならない項目がそれぞれございます。そういったところを十分すり合わせをする中で協議の場を設けていきたい、そうように考えております。

○浜野利夫議員 予定としては、やっぱりテンポは、いつ最終完了する予定かちょっと分かりませんが、そこまでに例えば、市町との関係も当然出てくる可能性があると思うんですけど、本体はこの組合の計画ですからね。組合の計画は、市町の計画を基に作ったというのは先ほど事務局長が言われた平成18年ですか、最初のときもそういうことでこの計画が作られているから、関連性無視は当然できないんですけど、本体はここで作る計画なので、あと完了までに例えば月1回ぐらいはとか、必要に応じてとか、どう

いうテンポの会議、打ち合わせみたいなのが予定されているのかだけ教えてください。

○富岡浩史議長 松井政策推進課長。

○松井 貢政策推進課長 令和3年度のコンサルとの協議の予定でございますが、今現在で4回程度予定をさせていただいております。

○浜野利夫議員 分かりました。その方向で是非、進む計画を完了させてほしいと思いますので終わります。

○富岡浩史議長 先ほど浜野議員、補正予算のごみ処理手数料の件について、後でということでしたけれども資料の準備が整い次第、午後から報告するということですので、それでよろしいでしょうか。

○浜野利夫議員 はい。

○富岡浩史議長 他にございませんか。

井上議員。

○井上治夫議員 先ほど、今のことに関連して7ページですけれども、一般廃棄物処理基本計画ですけれども、予算のときは1,964万3,000円、それがマイナス1,145万9,000円ということで818万になっているということで、あまりにも差が大きいというのは僕の普通の感覚なんですけれども、こういうことはよくあることなのか、今回そういう特別なことで起こったのかということを、ちょっとその点だけお聞かせください。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 本組合で実施しております入札におきまして、ここまでの大きな金額の差が頻繁に発生するかということではございません。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

○井上治夫議員 分かりました。

○富岡浩史議長 他にございませんか。

太田議員。

○太田秀明議員 高度な話で非常にわかりにくいんですが、この管理者の説明の中で6,000円、かなり金額の低いところまで説明されて、この基本計画だけ抜かされていたように思うんですけども、私の聞き間違いかも分かりません。要は、これは契約差金。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 そうです。契約差金でございます。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 それは、こういう大きな差金は今までにはない、なかった。例えば、100億あって50億余りましたという話はないですよ。これだけの差は、いわゆるコンサルというのはよく分かりませんが、大体こういう環境計画とか何々計画というのは何百万と出しているケースが多いと思うのですが、2,000万前後というのは非常に大きなお金ですよ。それはいろいろ調査事項があるし複雑な面があるので、過去

の経緯からこれだけかかるんだろう、ところがこれだけになったという。この予想もつかないというよりも、何か他のケースを見てもしょっちゅうあることかなという感じがするんですけど、その辺はいかがなんでしょうか。

言い換えると、コンサルにお願いするというのはなかなか分かりにくいですよ、実際の話。例えば建物を建てるんだったら分かりやすいけども、いわゆるノウハウの部分に対するお金を支出するんですから非常に難しい、これは2,000万高過ぎるから200万でできるじゃないかと言えば、200万でもできる業者はあると思うんですね。

あるいは、これは高いから内部で作らしようというような教科書はあるんですから、調査を踏まえて内部で作ろうと思ったら作れるわけですからね、実際の話。違いますか。それが難しいから多額なお金を出して、難しいというよりも忙しいからということかも分かりませんが。

構成団体もそうですけど、作ろうと思えば作れるけども、なかなかそれがないと補助金が出ないという部分もあるし、いろんな計画はね。いろいろ国から下りてきた計画はいっぱいあるんですよ。これ作らざるを得ない。今回もそういうことで、実際には想定しがたい金額だけど、相場ってあるじゃないですか。相場からかなりかけ離れているということですよ、結果。安かったからよかったという面もありますけども、想定額からかなり低い、低過ぎるというのは、その想定されたのはどうやって想定されたのかということも、ちょっと興味がありますから是非説明していただきたいのと、これを説明されなかったと思うんですよ、当初、管理者は。その意図というのは何かあるんですか。そのことも含めてお伺いしたいです。

○富岡浩史議長 よろしいですか。河野事務局長。

○河野一武事務局長 今回、まず予算を計上させていただく折には、設計の方を作らせていただいております。設計につきましては、処理計画また処理基本構想、それぞれの項目につきまして、経費につきましては、人件費のみというような形になっておりますので、前回15年前に作らせていただいたときの人件費の人数相場、それと人数につきましても主任技術者またABC、それぞれの単価、それぞれの違いがございますので、それぞれの単価の前回の内容を踏まえた中で設計の方をさせていただいて、予算を作らせていただいたというところでございます。

しかしながら、蓋を開けてみると非常に安い半額以下で落ちてしまったというのが結果でございます。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

○太田秀明議員 要は分からんということ。なぜそうなったか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 もちろん必要な人数につきましては、設計の方はさせていただいておりますが、その中で主任技術者それぞれABC労務単価の人数の違いがあったというのが事実だというふうに考えております。

○富岡浩史議長 太田議員どうですか。よろしいですか。

○太田秀明議員 それと、敢えて説明されなかった理由を。

○富岡浩史議長 前川管理者。

○前川 光管理者 別に少しは触れていましたけれど、長くは触れていないのは現実でございます。そんなに重要とは思っていなかったということにつきます。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 我々中身はなかなか分かりにくいので、どうしても金額を見るんです。だから、6,000円まで説明されていて何で1,100万円の説明をされない。単純な疑問なんです。やはり金額が多いと、これはこうなりましたという説明が必要ですよ。ずっと長々と浜野議員とも議論をされてますけども、当初から分かりやすいように説明していただきたいなというふうに思います。以上です。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

他にございませんか。いいですか。

それでは質疑も尽きたようですので、質疑を終わり討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

討論もないようですので、討論を終わり採決いたします。

第3号議案について、原案どおり可決することに賛成の議員は挙手を願います。

(賛成者挙手)

全員賛成。よって、第3号議案、令和2年度乙訓環境衛生組合一般会計補正予算(第4号)については、原案どおり可決されました。

○

○富岡浩史議長 日程8、第4号議案「令和3年度乙訓環境衛生組合一般会計予算について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

前川管理者。

○前川 光管理者 それでは、日程8、第4号議案「令和3年度乙訓環境衛生組合一般会計予算について」のご説明を申し上げます。

関係市町の財政状況は、「新型コロナウイルス感染症」の影響により、税収入等の歳入に大きな影響を受けることは避けられない状況にある中、歳出では扶助費や公債費に係る義務的経費の増加や公共施設の老朽化対策に係る需要の増加に加え、新型コロナウイルス感染症対策経費の増加により、これまで以上に厳しい財政状況にあり、一層の財政健全化に努められているところであります。

本組合の令和3年度予算編成にあたりましては、老朽化が進む各施設の維持補修費や

公債費等の歳出増加が見込まれる一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会によるペットボトル有償入札での落札単価が下落し、自主財源の減少が見込まれる中、現在、次期一般廃棄物処理基本計画及び一般廃棄物処理施設整備基本構想策定業務により今後の施設整備方針を検討している状況を踏まえ、「安全・安定した廃棄物処理」の推進を基本に、各施設の現状を精査の上、維持補修経費を必要最小限に抑え、また令和3年度以降においてもリサイクルフェアをインターネット開催とするなど各事務事業の見直しを行い、適正な廃棄物処理と財政運営の健全化に取り組んだところであります。

それでは、令和3年度乙訓環境衛生組一般会計予算、第1条、歳入歳出予算についてご説明申し上げます。

令和3年度の当初予算規模といたしましては、総額15億7,971万8,000円で、前年度と比較いたしますと1,263万5,000円、率にして0.8%の増となっております。

続いて、歳出の主なものから、その内容についてご説明申し上げます。

まず総務費では、ごみの減量やリサイクルを推進するための情報発信や啓発に関する広報事業といたしまして、広報紙及び啓発リーフレットの印刷や外部啓発活動等の経費を庁舎管理事業といたしまして、施設の維持管理に係る各委託料や老朽化に伴う電話設備更新工事等の経費を、電算システム管理事業といたしましては、各種システムの保守管理等の経費を政策推進事業といたしまして、2年目となります、一般廃棄物処理基本計画策定業務委託等の経費を会計管理事業といたしまして、指定金融機関のシステム変更や各種手続の有料化に伴うインターネットでのデータ伝送サービスの使用に係る経費を、その他特別職・一般職の人件費等を合わせ1億6,548万2,000円を計上いたしております。

次に衛生費におきましては、搬入廃棄物の処理において、環境対策に万全を期し、適正に処理を行うための各処理施設の運転・維持管理経費のほか、リサイクルフェアのインターネット開催、その他、年間を通じて本組合事業に関する情報発信の充実を図るための経費を中心に、人件費等を合わせ6億7,741万6,000円を計上いたしております。

事業費におきましては、安全で安定した廃棄物処理を図るため、ごみ処理施設等、各処理施設の補修経費を、また勝竜寺埋立地の延命化に向け、大阪湾フェニックス処分場へ年間約5,930トンを搬出することとし、その必要経費等を合わせ3億475万5,000円を計上いたしております。

公債費におきましては、元利償還金を合わせ4億2,654万8,000円を計上いたしております。

歳出最後の予備費では、400万円を計上いたしております。

次に、歳入の主なものについてご説明申し上げます。

分担金及び負担金では、市町分担金として13億1,596万5,000円を計上いたしております。このうち1億7,759万9,000円が地方交付税措置されることを見込んでおります。

次に使用料及び手数料では、事業系一般廃棄物などのごみ処理手数料等で1億6,873万を、財産収入では、アルミ缶などの有価物売払代金等で2,202万3,000円を、繰入金では、財政調整基金からの繰入金として5,610万円を、繰越金では、前年度からの繰越金として200万円を、諸収入では、余剰電力売却料やペットボトルに係ります再商品化適合物返還金等で1,490万を計上いたしております。

最後に第2条、一時借入金におきましては、前年度と同様、一時借入金の借入れの最高額を3,000万円といたしております。

以上で、令和3年度当初予算の概要とさせていただきます。

なお、詳細につきましては、この後、事務局長からご説明申し上げます。よろしくご審議賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 それでは、私から令和3年度乙訓環境衛生組合一般会計予算の概要につきまして、ご説明を申し上げます。

令和3年度の予算規模は、歳入歳出それぞれ15億7,971万8,000円となり、対前年度比較0.8%、1,263万5,000円の増となっております。

それでは、歳入歳出事項別明細書に基づきましてご説明を申し上げます。

まず、歳出につきましてご説明をさせていただきます。予算書、9ページをお開き願います。

款1議会費、目1議会費では、議員報酬及び議会開会に伴う経費のほか、議員視察研修に係る経費といたしまして151万7,000円を計上し、対前年度比較7.6%、12万5,000円の減となっております。

次に、款2総務費、項1総務管理費、目1一般管理費では、1億6,336万8,000円を計上し、対前年度比較21.2%、4,390万円の減となっております。

説明欄をご覧いただきたいと思っております。

職員人件費では、正副管理者及び職員15名等に係ります報酬、給料、職員手当等を人件費として1億2,203万5,000円を計上し、対前年度比較12.1%、1,672万5,000円の減となります。

次に、10ページをお開きください。

広報事業では、広報紙の発行などの経費といたしまして328万4,000円を計上し、対前年度比較0.5%、1万6,000円の減となっております。

庁舎管理事業では、庁舎の維持管理に係る経費として1,365万2,000円を計上し、対前年度比較31.4%、626万円の減となっております。

11ページをお開き願います。

安全衛生、健康管理事業では、職場の安全衛生や職員の健康管理に関する経費といたしまして325万6,000円を計上し、対前年度比較0.4%、1万2,000円の増となっております。

次に電算システム管理事業では、各電算機器システムの保守管理に関する経費といたしまして599万5,000円を計上し、対前年度比較47.1%、532万9,000円の減となっております。

12ページをご覧ください。

一般管理事業では、管理者交際費や職員講習負担金など、総務課所管の一般事業に関する経費といたしまして739万3,000円を計上し、対前年度比較5.2%、40万9,000円の減となっております。

次に、13ページをお開き願います。

情報管理事業では、情報公開、個人情報保護に関する経費といたしまして332万円を計上し、対前年度比較3.5%、11万3,000円の増となっております。

続きまして、政策推進事業では、地球温暖化対策や廃棄物の減量及び再資源化に向けた施策の企画・立案を行う経費といたしまして443万3,000円を計上し、対前年度比較77.5%、1,528万6,000円の減となっております。

以上が、一般管理費の内容となり、減となりました主な要因は、職員人件費において新規採用職員1名を見込んでおりますが、定年退職者2名が生じることに加え会計年度任用職員に係る経費を廃止したほか、光熱水費において新電力への切替えにより経費の節減に努めること、令和元年度から2年度に分散をし実施をいたしました庁舎エアコン更新工事が完了したことによるもの、さらには令和2年度から3年度の2か年事業として進めております、一般廃棄物処理基本計画並びに一般廃棄物処理施設整備基本構想策定業務委託に係る経費が確定したことによるものとなっております。

引き続きまして、目2会計管理費では、会計管理事業として消耗品の購入及び会計事務に用いる伝票等の印刷を行う経費といたしまして、10万9,000円を計上しております。

次に、14ページをご覧ください。

目3財産管理費では、組合財産の管理を行う経費といたしまして158万1,000円を計上し、対前年度比較72.4%、414万6,000円の減となるもので、減となりました要因は、勝竜寺埋立地調査測量業務が令和2年度で完了したこと等によるものでございます。

次に、目4公平委員会費では、委員報酬及び事務消耗品に係る経費といたしまして前年同額の5万円、目5基金費には、財政調整基金利子積立金として7,000円をそれぞれ計上しております。

次に、項2監査委員費、目1監査委員費では、委員報酬、事務消耗品及び工事技術調査委託に係る経費といたしまして36万7,000円の計上をしております。

以上、款2総務費全体といたしましては1億6,548万2,000円となり、対前年度比較22.5%、4,800万1,000円の減となっております。

続きまして、15ページをお開き願います。

款3衛生費、項1清掃費、目1清掃総務費では1億856万7,000円を計上し、対前年度比較8.9%、884万2,000円の増となります。職員人件費では、施設の管理業務に従事しております職員13名に係る給料、職員手当等の人件費といたしまして1億848万1,000円を計上し、対前年度比較8.8%、878万4,000円の増となっております。また、清掃総務管理事業では、作業服等の被服対応に関する経費といたしまして8万6,000円を計上するもので、増となりました要因につきましては、新規採用職員1名に係る人件費に加え、育児休業者の復職によるものとなっております。

続きまして、目2ごみ処理費では3億2,071万円を計上し、対前年度比較1.1%、338万2,000円の増となっております。ごみ処理施設運転管理事業では、ごみ焼却施設維持管理に関する経費といたしまして3億2,018万3,000円を計上し、対前年度比較1.1%、342万8,000円の増となります。

17ページをお開き願います。

次に、公害健康被害事業では、公害健康被害の補償等に関する法律に基づく健康被害の補償に関する経費といたしまして、52万7,000円を計上しております。増となりました要因は、需用費、修繕料におきまして設備修繕箇所が増加したことによるものでございます。

目3し尿処理費では2,366万6,000円を計上し、対前年度比較28.1%、519万1,000円の増となります。し尿処理施設運転管理事業では、し尿処理施設の維持管理に関する経費といたしまして2,278万円を計上し、対前年度比較30.1%、526万4,000円の増となっております。

18ページをご覧ください。

下水道投入事業では、希釈し尿等を京都府流域下水道終末処理施設への投入に関する経費といたしまして、88万6,000円を計上しております。全体で増となりました要因につきましては、工事請負費におきまして前処理設備点検整備工事を新たに計上したことによるものでございます。

次に、目4埋立地管理費では、勝竜寺埋立地の維持管理に関する経費といたしまして1,015万1,000円を計上し、対前年度比較17.1%、148万1,000円の増となっております。増となりました要因につきましては、工事請負費におきまして、汚水処理施設補修工事で経年劣化が著しいコンプレッサー等の更新を行うことによるものでございます。

続いて、目5リサイクルプラザ費では、1億5,843万7,000円を計上し、対前年度比較7.4%、1,269万5,000円の減となります。リサイクルプラザ施

設運転管理事業では、リサイクルプラザの維持管理に関する経費といたしまして1億4,856万7,000円を計上し、対前年度比較2.3%、354万6,000円の減となります。

19ページをお開きください。

再生工房事業では、再生工房施設の管理運営に関する経費といたしまして376万3,000円を計上し、対前年度比較22.8%、111万円の減となっています。

次に、リサイクルプラザ棟管理事業では、リサイクルプラザ建屋の維持管理に関する経費といたしまして610万7,000円を計上し、対前年度比較56.8%、803万9,000円の減となっております。減となりました要因につきましては、新電力への切替えによる光熱水費の減、備品購入費の減、リサイクルプラザ開催方法の見直しによります備品借り上げ料の減、さらにはプラザ棟エアコン更新工事が令和2年度末で完了することにより、工事請負費が減少したことによるものでございます。

次に、20ページをご覧ください。

目6ストックヤード管理費では、ストックヤード施設の維持管理に関する経費といたしまして5,588万5,000円を計上し、対前年度比較3.6%、191万7,000円の増となっております。増となりました要因につきましては、工事請負費において電力設備定期点検により劣化等不具合の指摘のある高圧受変電設備費の更新工事を新たに計上すること等によるものでございます。

以上、款3衛生費全体といたしましては6億7,741万6,000円となり、対前年度比較1.2%、811万8,000円の増となっております。

続きまして、21ページをお開きください。

款4事業費、目1ごみ処理施設改修事業費には、ごみ処理施設改修事業及び附帯施設改修事業共に前年度と同額の経費を計上させていただいております。その合計額につきましては1億5,690万2,000円となっております。同額計上となりました要因につきましては、令和3年度は公債費が償還ピークを迎えることに加え、新型コロナウイルス感染症予防対策等により関係市町の財政状況を踏まえまして、市町分担金の負担軽減を図る必要がありますことから優先すべき工事項目を再度精査いたしまして、前年度同額の範囲内で実施するものとしたことによるものでございます。

次に、目2埋立処分事業では9,163万9,000円を計上し、対前年度比較5.1%、493万5,000円の減となっております。廃棄物埋立処分事業では、大阪湾フェニックスによる埋立処分の委託等の経費といたしまして7,235万4,000円を計上し、対前年度比較6.9%、532万7,000円の減となっております。

次に、廃棄物搬出事業では、焼却残灰を大阪湾フェニックス及び勝竜寺埋立地へ搬出する経費といたしまして1,928万5,000円を計上し、対前年度比較2.1%、39万2,000円の増となっております。埋立処分事業費全体で減となりました要因につきましては、大阪湾フェニックスでの埋立処分計画料を一带に応じたものとしたこ

とに加え、建設負担金におきまして災害復旧事業が完了したことによるものでございます。

次に、目3リサイクルプラザ改修事業費では、ごみ処理施設改修事業費と同様の理由から前年度と同額の5,621万4,000円を計上しております。

以上、款4事業費全体といたしまして3億475万5,000円となり、対前年度比較1.6%、493万5,000円の減となっております。

22ページをご覧ください。

款5公債費、項1公債費、目1元金では4億2,016万1,000円を計上し、対前年度比較16.3%、5,902万5,000円の増となっております。増となりました要因につきましては、平成29年度借入れに係ります元金償還が令和3年度より新たに開始されることによるものでございます。

次に、目2利子では638万7,000円を計上し、対前年度比較18.5%、144万7,000円の減となっております。減となりました要因につきましては、元金の減少によるものでございます。

以上、款5公債費全体といたしまして4億2,654万8,000円となり、対前年度比較15.6%、5,757万8,000円の増となっております。

なお、公債費償還計画につきましては、予算参考資料17ページ、公債費償還計画表に記載をすとおりとなり、令和3年度が公債費の償還ピークとなっております。

次に、款6予備費につきましては前年度同額の400万円を計上し、以上が歳出予算総額15億7,971万8,000円の内容となっております。

引き続きまして、歳入の説明に移らせていただきたいと思います。

7ページをお開き願います。

款1分担金及び負担金、項1負担金、目1市町分担金として13億1,596万5,000円を計上し、対前年度比較1,643万1,000円、1.3%の増となっております。

款2使用料及び手数料、項1使用料、目1使用料では、土地等の使用料として11万7,000円の収入を見込むとともに、項2手数料、目1手数料では、ごみ処理手数料収入として1億6,861万3,000円の収入を見込み、款2全体といたしまして1億6,873万円を計上し、対前年度比較2.2%、367万4,000円の増となっております。

なお、使用料及び手数料の内訳等につきましては、予算参考資料12ページ、使用料及び手数料内訳表に記載をすとおりでございます。

款3財産収入、項1財産運用収入、目1利子及び配当金では、財政調整基金利子収入7,000円を計上するとともに、項2財産売払収入、目1物品売払収入では、鉄・アルミ等の有価物売払収入2,176万4,000円、あわせ再生自転車及び再生家具の売払収入25万2,000円の収入を見込み、款3全体といたしまして2,202万3,

000円を計上し、対前年度比較9.2%、186万2,000円の増となっております。

なお、その品目別の売払料及び単価につきましては、予算参考資料13ページ、有価物売払代金内訳表に記載をするとおりでございます。

款4繰入金、目1財政調整基金繰入金では5,610万円を計上しております。

8ページをご覧ください。

款5繰越金、目1繰越金では、前年度同額の200万円の計上をさせていただいております。

款6諸収入、項1組合預金利子では、歳計現金預金利子として1,000円を見込むとともに、項2雑入では工芸教室参加料や余剰電力売却料等によりまして1,489万9,000円の収入を見込み、対前年度比較34.2%、773万2,000円の減となっております。減となりました要因につきましては、コロナ禍における流通需要の低下によるペットボトル資源のだぶつき等により、再商品化適合物返還金の単価が大幅に下落したことによるものでございます。

なお、諸収入の内容につきましては、予算参考資料15ページ、陶芸教室参加料内訳表、16ページ、余剰電力売却料内訳表及び再商品化適合物返還金内訳表に記載をするとおりでございます。

款7組合債につきましては、計上をいたしておりません。

以上が、歳入予算総額15億7,971万8,000円の内容となっております。

最後に第2条で、地方自治法第235条の3第2項の規定により、一時借入金の借入最高額を3,000万円と定めるものでございます。

以上、令和3年度乙訓環境衛生組合一般会計予算に係ります説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○富岡浩史議長 ただいま、提案理由の説明がありましたが、本件について質疑を行います。質疑の方法といたしましては歳入歳出別に質疑を行います。

まず最初に、歳入についての質疑を行います。ページ数は、7ページから8ページです。ご質疑ございませんか。歳入、よろしいですか。

井上議員。

○井上治夫議員 昨年も話をしたんですけども、先ほどの計画についても15年間ですごく差金が出てくるというかそういう時代の変化がある中で、この乙環ができて50年以上経って、やっぱり令和の時代にごみというものも大きく変わってきているので、昨年もお願いしたんですけども市町負担金、大山崎町がごみの量としては令和元年で言うと9.01%ごみを出しているのですけれども、実際の負担というのはこれで見ても11.44%ということで負担が多くて、金額にしたら3,200万ぐらい、実際のごみを出している量よりもたくさん負担があることになっています。

そういう意味では、昔と違ってコンピューターなりで持ち込みの量が分かるというか

なっているもので、是非ごみの負担金、市町負担金をごみ搬入量に近づけてお願いしているのですけれども、その辺の検討というかがあったらお聞かせください。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 ただいまの分担金の関係でございますが、昨年来よりご指摘をいただいている内容でございます。先ほどもありましたが、事務連絡会の中で一定協議の方はさせていただいているところでございます。

しかしながら、事務連絡会の中でもいろいろと議論をさせていただいている中で、やはり課題となってきておりますのがごみの搬出量割といった場合、どうしても資源ごみの関係が出てまいります。どうしても資源ごみの分別排出の徹底を呼びかけていく中で、その部分もごみの、例えば分担金に跳ね返ってくるということがいかなものかというご意見もあったというのも確かでございます。そういったところも踏まえまして、今の均等割の部分また人口割の部分、そしてごみ量割の部分、その色々な手法を色々な方向で検討する中で、より良い賦課金条例の改正に向けた協議の方を進めてまいりたいと、そのように考えております。

○富岡浩史議長 井上議員。

○井上治夫議員 よろしくお願ひしたいと思うのですけれども、今言われた理由で資源ごみはこうなってしまう割合でかかっているのか、なるべく僕たちも町民の税金をここに入れているわけですから、町民さんに分かりやすく説明できる資料を是非お願ひしたいと思います。要望しておきます。

○富岡浩史議長 よろしいですか。他ございませんか。

佐藤議員。

○佐藤新一議員 少しお尋ねをしたいのですけれども、予算参考資料の1ページのところを見ていただきたいのですけれども、右のところのストックヤード（プラプラザ）の関係のことが書いてあるんですけれども、その他一番思うのですけれども、その他プラとそしてどの程度排出者が協力すれば適合物の品質向上になるのかなど、例えば家庭で出し方についてというような形でよく包装紙にシールを貼っているとか、きっちりする人はそれもめくらのあかんの違うかなとか汚れ方など、そういうような部分としてもものすごく気をつけておられる人たちもいるということなんです、理解不足やったら言っていたきたいのですけど、その他プラは有価物として出すのですけども、その先の話なんですけども製鉄所とか火力発電所なんかの炉の燃料になるというような形も少し聞いているのですけれども、そういうような扱いをするんだったらどの程度、住民の方に協力を求めるのかと、その辺なんかはちょっとお分かりだったら教えていただきたいのと、もう1点は、予算総額のところの増減の関係で1, 263万円が増額になっているのですけど、いろいろ要素はたくさんあったと総合的なんですけども、要素を基本的な大きいのやったら先ほどの説明の中でもあったのですけど教えていただきたいなという、この2点です。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 その他プラスチックの話ですけれども、シールとかは別にはがさなくてもいいのですけれども、ある程度の汚れが残っているものについては軽く水洗いをしていただいて、中に異物が残らないように排出していただければ、資源化や再利用が可能となります。

ちなみに、今プラスチックの方は容器包装リサイクル協会の方で処理をしております。その行方としましては、国内流通になっており、材料リサイクルとケミカルリサイクルに分かれますが、やはり残渣というのがどうしても出てきます。全体で、約3割ほどの残渣が発生しているということを聞いております。

極端な洗剤での洗浄まではいりませんが、水ですすぐなりして排出してもらったら、再利用可と聞いておりますので、その程度のご協力をお願いしたいと思います。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 歳出の主な増の要因ですけれども、一番大きなものでいきますと公債費の増でございます。平成29年度のごみ処理施設長寿命化第Ⅱ期工事で借り入れました、公債費の元金償還が開始することでございます。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

○佐藤新一議員 はい。

○富岡浩史議長 他ございませんか。

富田議員。

○富田達也議員 1点だけちょっと確認というか、聞きたいことがあるのですが、8ページの再商品化適合物返還金なんですけれども、単価が激減というかほぼなくなっているということも理解していて、それで少し思うのは、この協会を通して今のところ処理が行われていると、安定的な処理というところで協会を通しては思うのですが、この協会を通さないで例えば民間に処理を投げるということはできないのですか。

○富岡浩史議長 藪下施設業務課主幹。

○藪下施設業務課主幹 実際のところは、協会の方へ引き渡している自治体と民間の方へ引き渡している自治体がございます。これは平成18年10月17日付でございますけれども、環境省の方から各都道府県の方に対して出ているものとして、国の方針として市町村により分別収集された使用済みペットボトル等については、指定法人等への円滑な引き渡しを促進することを明らかにするものであるということで、市町村に対して円滑に協会の方へ引き渡すということは通知されております。

こういったことも踏まえまして、組合の方としましては、平成10年度からリサイクルプラザでペットボトルの引き渡しを行っていますが、ほぼ当初から協会の方へ引き渡しているという経過でございます。以上でございます。

○富岡浩史議長 富田議員。

○富田達也議員 分かりました。一応確認なんですけど、民間であればこれは大体どれぐ

らの単価になるかとかいうのは把握はされてますか。

○富岡浩史議長 藪下施設業務課主幹。

○藪下施設業務課主幹 民間については、ちょっと調査の方ができておりませんので、すぐには分かりかねます。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

富田議員。

○富田達也議員 国からの通達というところで理解はするんですけども、民間が例えばトン当たり1,000円よりも大幅に大きいというのであれば、検討するべきだとは私は思いますので、一度ご確認はしていただきたいなと思います。以上です。

○富岡浩史議長 要望ですね。他ございませんか。

井上議員。

○井上治夫議員 関連してですけども、このペットボトルだと思うんですけど、昨年の予算が1,125万円、今年が27万円、多分商品がだぶついてきているということだと思うんですけど、そういう意味ではペットボトルそのものを減らしてもらうということに住民さんに話をしていかなあかんのか、いや別に今までどおりでいいと考えられているのか、その辺の今後の処理の見通しというのはコロナが解決したらまた戻っていくものなのか、ちょっと分からないので分かる範囲でお願いいたします。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 ペットボトルに関しましては、3年度は15トンの増を見込んでおります。今の段階で処理に支障があるとか、逼迫している状況というのはございません。ただ、減らしてもらうのはそれはそれでまたごみ量が減というのもいいのですが、ペットボトルは入札制度になっており、返還金として収入にもつながりますので、どちらがいいかというのはなかなか一概にはいえませんがCO₂削減については減らしたほうがいいのかなどと思いますが、その分収入も減るということでございます。今処理に関しては差し詰まって逼迫しているということではございませんので、現状で問題はないと思っております。

○富岡浩史議長 井上議員。

○井上治夫議員 分かりました。ただ、これだけ値段が下がってきたら、その辺は住民に伝えてそれを分別して持っていく、結果として全然収入が成り立たへんということは伝えていくことが、それがどっちがいいのか難しいですけども、そういう状況はやっぱり伝えなあかんのかなと思って聞かせていただいたんですけど。

○富岡浩史議長 よろしいですか。他ございませんか。

服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 速報ではございますが、当初積算の際には1,000円と見込んでおりましたが、先日出札が実施され、単価が2万2,100円に上昇しております。

○井上治夫議員 分かりました。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

佐藤議員。

○佐藤新一議員 また、参考資料の16ページに余剰電力売却云々で資料説明を受けたときに言われていて、先ほどあったと思うのですが関電から新電力に9月から変えていくと、これも1年契約にするとあっていて、そっちの方が安いからだろうと思うのですが、新聞等々のニュースを見たときにあるんですけど、そういう新電力に移したときに必ず安くなるのかどうか、その辺なんかがちょっと新聞を見ていたらすごい供給量を大元の関電等々が操作すると言ったら語弊がありますが、コロナ禍で公益云々があって、すごく高くなっているというようなちょっと契約の体系にもよるんやけど、ちょっとその辺何かで危惧はないのかどうかだけちょっと聞いておきたいです。

○富岡浩史議長 藪下施設業務課主幹。

○藪下施設業務課主幹 新電力への移行につきましては、まず余剰電力の売却とそれから購入電力の支出の件と両方ございます。

まず、余剰電力の売却の方から申し上げますと、複数業者に当初予算の段階で参考見積りを取りました。その段階におきまして、現在関西電力に売却している金額よりも低い金額で参考見積りが出てきております。ですので、入札を新電力に切り替えたからと言って、必ずしも関西電力の金額を入札時に上回るかどうかというのは、ちょっと未定でございます。

それから、購入電力の方でございますけれども、これも複数事業者から取りまして、現在の関西電力の単価よりも今度は安い金額で出てきておりますので、こちらについては入札をすれば下がるというふうに見込んでおります。

以上です。

○富岡浩史議長 以上ですか。他ございませんか。

服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 先ほどの令和3年度上期のペットボトルの単価ですけども訂正させていただきます。私、2万2,100円と言いましたけども、2万1,100円でございます。すみません、失礼しました。

以上です。

○富岡浩史議長 よろしいですか。他ございませんか。

浜野議員。

○浜野利夫議員 予算参考資料、この中身で聞くのは初めてになるんですけど、歳入歳出に多少かかるかもしれませんが、両方合わせた予算編成基本方針、施設運転方針というところで、ここの流れをまずお聞きしたいと思うのですが、この真ん中ぐらいですかね。先ほど出ていた有価物売払収入で単価が大幅に下落し云々とあるんですけど、これよく中身を見ますと、参考資料13ページにもありますけども、前年当初比でガラスビンの無色がトン当たり300から200円以内、破碎鉄とか破碎アルミ、スチール缶、

プレス、大幅に単価アップしているんですね。この表現でいくと、先ほどのペットは分かりますよ。でも有価物全体が予算の基本方針から見たら、全体がこれ有価物もものすごく下落して大変だということとは違うと思うんですよね。そこのこれどういう意味でここをこういう表現をしたのかが、ちょっと真意を知りたいなと思ったんですけど。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 予算参考資料に記載させてもらっております、予算編成方針につきましては、予算編成にあたりまして組合内部に管理者の方から発出いただいた内容を記載をさせていただいたものでございますが、内部的にはこの有価物というのは単年度で見ますと、今議員が申し上げられましたとおり、令和2年度、令和3年度の比較では単価が上がっておりますが、ここ数年の、過去数年前からの経過として下がっておるということで内部にはそのような趣旨の下で通知をしたものでございますので、令和3年度の当初予算、それから皆様にお配りをしております予算参考資料とは、中身的には不突合のところがございます。

趣旨としては、そのような内容でございます。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 分かりました。それでは今、紹介もしましたけどガラス無色がトン100円下がった以外、全体でこの分野がかなりアップしてますよね。後でだから、予算編成の後に出てきて実際の予算計上はこういう状態になったということによろしいですね。編成した頃はこういう有価物が大幅に下落というような状態だったと、その後の変化でという理解でよろしいですか。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 前年度である令和2年度ではなく、令和元年以前からのこれまでの数年間の傾向の下でのお話でございます。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 半分分かって、半分分かってない。

それともう一つは、気になった表現があって、本組合の歳入の約8割を市町分担金が占めていることを全職員が深く認識し、貴重な財源を有効に活用し云々が本組合の使命であると、この表現気になったんですけど、市町だってここだって全部もともとは住民の税金が基になってるわけでね。何か組合の8割が市町からもらっているから、取りよによっては遠慮せんらんといいですか、市町にもものが言えないという雰囲気にも感じる表現なんですけど、この表現はまずいと思うんですけど、本音はどこにあるのでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 本音と申し上げますか、まず市町の方から分担金を頂戴しているというのは事実でございます。そういった内容も踏まえながら、やはり予算の有効利用という観点の中で予算を編成していくということでございます。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 多分分かってるんだと思うんですけども、市町だってみんな住民の税金だし、ここもそれを基にきてますから、市町から分担金をもらっているからと言って本来市町に私何回か言ってますけど、言うべきこと、提起すべきことを遠慮することは一切ないというのを私は今言いたかったんです。その辺は、そういう意味で8割が分担金なので市町にものが言えないということでは、要請できないことはないというだけ確認をしたかったんです。それでよろしいですね。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 ご指摘のとおり、そういうことではございません。

○富岡浩史議長 どうぞ。

○浜野利夫議員 分かりました。それとね、これちょっと今の予算編成方針、施設運営管理方針の関係もそれになるんですけども、元々さっきから組合の最高意思決定機関が正副管理者会議という前からの確認があったんですけど、結局、市町から搬入されたごみをいかに処理するのかが、この組合の業務役割だというのはずっと言われてきたと思うんですね。それはいいんですけども、ちょっと今気になった承諾事業所とか許可業者経由のごみ搬入、これはもともと各首長がみんな許可をしてますから、ここでハードルになっていろいろ見えること、思うことがあってもなかなか言えないと、各首長が許可をしているから組合の権限から外れるという方もよく実態であったのではないかなと思うんですけど、そういうことはないですか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 もちろんごみの搬入につきましては、各市町からの指示書というのがある中で、組合の方がお受けをしているということが現状でございます。

しかしながら、組合といたしましても搬入指示書を受けた中で、搬入申請を事業者の方からしていただきます。その搬入申請の中で、一定ヒアリング等をさせていただく中で組合の施設を守る、また分別の適正な排出をしていただくという観点から、組合の権限として搬入指導というのはさせていただいております。

○富岡浩史議長 浜野利夫議員。

○浜野利夫議員 基本的、とにかく搬入されるごみを処理しているのでよく見えると思いますので、いろいろ必要なことは市町に組合側から見えること、思うことはどんどん遠慮なく作業部会とか事務連絡会にどんどん、それはまさにそういう場なんですから要請をどんどんして行ってほしいなというだけ要望しておきます。

これ、下の方のこれが率直に意味が分からないので教えてほしいんですけど、編成方針を基調として特に①安全・安定した廃棄物処理の推進、これは分かります。③財源の確保も分かります。④経常経費の削減を基本的にと、これも分かります、思いは。ただ、この②の重要課題の取組というのは、この編成方針の予算の編成の土台として何を重要課題としたのか、何も書いてないので分からないんですけど、これを教えてほし

いです。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 令和3年度の予算編成にあたりましては、先ほどからもありますとおり、処理計画の立案また処理施設整備基本構想の立案というのが本組合、関係市町共通の重要課題ということで位置づけをさせていただいております。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 分かりました。そういうことを言葉で書いてもらったら、何が重要かということがよく分かるんですけどね。また以後、よろしくお願ひしたいと思います。

次の施設運営管理方針、この中身の関係なんですけども、リサイクルプラザの項で市町と協調して廃棄物の減量・再資源化を推進し云々とあるんですけど、実際、この新年度予算との方向でさっきもちょっと出ましたけど補正のとき、市町での分別の種類の違いとか搬入処理の仕方、ここ違いがあるから搬入された後の処理もいろいろ大変苦労されてますよね。この辺のことでは、この新年度の方針でリサイクルプラザの施設管理運営方針とあるんですけども、その市町とどんな協調をして廃棄物の減量とか再資源化を推進しようとしているのか、この市町の分別の関係、この新年度はどうしようとされているのかというのを明確なものがあるのかないのか分かりませんが、方向性は教えてほしいと思うんですけど。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 令和3年度に向けまして、明確な方向性というのはまだ何もないというのが現状でございます。

しかしながら、処理計画を今後、令和3年度に立案をしていく上で先ほどからもご指摘いただきますとおり、分別項目のずれ等につきましても十分協議をさせていただきたい、そのように考えております。

○富岡浩史議長 浜野利夫議員。

○浜野利夫議員 もう一つ、長岡で2月から指定ごみ袋制が始まった結果として、いろんなことが見えてきたところがあると思うんですけども、ここには触れられてないんですけども、施設リサイクルプラザのところで紙類・古紙類・段ボール類、これなんかはこの間、長岡は2月から指定ごみ袋制が始まっていますので、これらの紙とか古紙とか段ボール類を作業部会とか事務連絡会で交流しながら、どうしようかという検討はこの間、方針、この予算書を出すにあたってしたことは何回かあるんでしょうか。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 こちらに記載しておりますものは、予算編成方針として各担当課が、この方針に基づいて令和3年度にどのような施策を推進できるかということを検討した上で、予算を要求するためのものがございます。

今、議員がおっしゃっておられるお話につきましては、まさに一般廃棄物処理基本計画の中で検討しているものがございますので、この予算編成方針については、もちろん

その議論等も含めて方向性があるものについては予算に反映させていくということで、要求するよということですのでけれども、この方針と具体的な施策の今の現状はちょっと異なるということでご理解いただければと思います。

○富岡浩史議長 よろしいですか。浜野利夫議員。

○浜野利夫議員 ここ自身のごみの減量とリサイクルというのは、組合だけではなくて市町でも共通した大事な課題ですよ。減量と再資源化というのは。

その中で、例えば可燃ごみが多少増えたとして2月で、という話もあったのでなおさら思ったんですけども、長岡の例で紹介しますと、可燃ごみは2, 200か所ぐらいあるんですよ、ステーションが。ところが、資源ごみは200か所ぐらいしかなくて、古紙とか段ボール類は自治会・子ども会が多いですけども220か所ぐらい、それぞれ10分の1ぐらいなんです。たまたまうちの家の前、町内の子供会のステーションになっているんですよ。昔からずっと業者うちの前でよう話をするんですよ。最近、お話を聞いたらこんな言うてました。私は縄張りがあるのかなと思った。言葉が変ですね。業者の中で区域が決められていると思ったら、そんなものは一切ありません。長岡だったらどこへでも行きますよという話だったんですよ。つまり、可燃ごみと資源ごみと、それから古紙類は日曜日まで使って曜日が全部違うんですよ。ですから、場所を増やせなくてもそれぞれの可燃ごみか資源ごみのステーションを活用できたら、古紙類とか段ボール類もできるんですよ、ある程度は。少なくとも10分の1から増やすことができるんですけど、それを業者に言ったら、言ってくれたらどこにでも行きますよというのが長年付き合っている業者の話やっただけですよ。そういうことは、ここに後で出ますけど、古紙類の搬入処理はないですよ、収入ほとんど、2, 000円しかない。これは後で聞くんですけど、そのことはまさに長岡が先頭切って指定ごみをやっているのだから、作業部会や事務連絡会で何か減量と再資源化のためにこんな方法はないかみたいなことは、それこそ交流、それもやってないですか、まだ。現実、100トン減ったわけですよ。家庭ごみは。大事な交流の場だと思うんで、そういうことはされてないですか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 ただいま、ご指摘いただく内容につきまして、もちろん生ごみが減ったというのは情報共有はさせていただいております。

しかしながら、古紙等の集団回収につきましては、やはりそれぞれの自治会また子供会の収入源になっているというのも事実でございます。そういったところも十分踏まえて、今回計画を作らせていただく中でそういう集団回収を活用していくのか、もしくは公共収集を開始していくのかということも含めて十分議論をして参りたいと、そういうふう考えております。

○富岡浩史議長 よろしいですか。まだありますか。

○浜野利夫議員 長岡京市議会では、私も言ってきましたし、是非、乙訓共通する減量と

リサイクルは共通の課題なので、今言われたその方向で是非前向きな検討をお願いしたいと思うんです。

もう一ついいですか。乙訓の統計資料を見ますと、長岡だけで2,000を超える事業所があるんですよ。公共施設も全部ひっくるめて。だから、乙訓全体で見たらもっと事業所総数は多いと思うんですけど、いわゆるここにはさっき後で触れる古紙類2,000円の収入が入ります。それ以外は、公共施設も含めてこっちには搬入されてないですよ。事業所総数から言ったら、かなりの事業所数があるんですけど、それぞれこういう資源化もできる、減量もできる、紙類とか古紙類はどこに行っているかというのは、把握はされているのでしょうか。4,000近くの事業所がありますから、許可業者と承諾事業者以外は見えないと思うんですよ。それで何とかしろという意味ではないんですけど、そういう把握なり情報は入っているのかだけちょっと知りたいんですけど。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 まず、先ほど来から2,000円というお話がありますけれども、その2,000円につきましては組合の事務処理から出てくる古紙の関係のみでございます。

先ほどありました、管内の要は事業所から出る古紙類、その辺の内容につきましては、本組合では分かりかねるところでございます。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

○浜野利夫議員 分かりました。もう一つのストックヤード、プラプラザのところで、その他プラ、ペットの資源化率及び分別基準適合物の品質向上並びに安定処理に向けた運転云々とあるんですね、表現が。このことで、市町に何かストックヤード、プラプラザ、ペットとかその他プラで要請することはあるのでしょうか。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 こちらにつきましては、組合が先ほども言うておりますように処理する側でございます。適切に有益に処理できるように、これは常日頃から依頼はさせていただいておりますけれども、適正に排出していただくということが大前提になっていきますので、汚れたものは極力、先ほども言いましたけどすすいだり、あまり汚いものは可燃物として捨ててもらうことが組合の願いということになっております。

○浜野利夫議員 これは予算の中でやってくれるんですけど、要するにこれ、その他プラとかペットでの収集日と場所の増、増やしていく問題がいろいろとあるかと思うんですけど、現実特にペット、今も単価が大きく下落して、先ほどまた上がる方向を言われてたんですけど、記憶が違っていたらごめんなさいなんですけど、基準適合物の返還金については優良可だったら、前はそうやけど、ペットボトルの搬出した状態によって優良だったらたくさん返還金があるとか、確かそなんあったというのは間違いでしたかね。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 きれいに出示していただいたら返還金が返ってくるのは、合理化

拠出金の方でございまして、きれいに出していただいたらその分処理するのにもお金がそんなにかからないので合理化拠出金という名目が入ってきます。

○浜野利夫議員 えっ。

○服部 潤施設業務課長 合理化拠出金。再商品化合理化拠出金という名目が入ってきます。きれいにしていれば。

○浜野利夫議員 ということで、あまり無理は言えないと思うんですけど、それこそ市町会に出すときに、とにかくきれいに泥を全て取れといったも大変になるので、そんな場合もそうなんですけど、それでたくさん洗い過ぎて大変ということもあるので、ある程度の方向性をまたアピールを、市町を通して各住民さんにはできたほうがいいなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思うんです。

○富岡浩史議長 要望です。まだありますか。

○浜野利夫議員 まだ、あとは本体少し。

○富岡浩史議長 分かりました。ただいま、質疑の途中であります、午後1時10分まで休憩いたします。

休憩 (午後 0時10分)

再開 (午後 1時10分)

○富岡浩史議長 1時10分までの休憩ではございましたが、皆さんおそろいでございますので、引き続き休憩を閉じ、続会いたします。

それでは、午前中の浜野議員さんの手数料の件。

藪下施設業務課主幹。

○藪下施設業務課主幹 午前中に浜野議員からご質疑がありました、その他プラスチックとビンの増減に対する二市一町別の割合でございますけれども、その他プラスチックの方が向日市8.07%の増、長岡京市14.5%の増、大山崎町9.20%の増でございました。

ビンにつきましては、向日市マイナス1%、長岡京市2.1%の増、大山崎町4.2%の増でございました。

以上が、内訳になります。

○富岡浩史議長 浜野議員、よろしいですか。

○浜野利夫議員 はい。

○富岡浩史議長 いいですか。

それでは、休憩前に引き続き、予算歳入のご質疑を行います。

浜野議員。

○浜野利夫議員 予算の分なんですけども、市町分担金の関係なんですけども、元年度の決算のときに事務局長からだったかと思うんですけど、均等割3割を残して搬入量割で計算すると向日市が760万減、長岡京市が2,100万増、大山崎町が1,350万

減となりますということをおっしゃられたと思うんですけど、今もううまく言えませんので結論的に、今で計算すると二市一町どういうふうになるかというのを確認をしたいのですけど。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 今回の令和3年度の当初予算をただいまご指摘いただきました、まず均等割につきましては、議会費の100%、人口割につきましては、総務費の30%、それ以外が人口割という部分で算出をさせていただいています。その中で、人口割部分をごみの搬入量割に戻した場合で、あくまでも試算でございますが、まず令和3年度の向日市の分担金としては、現在の計上をさせていただいている予算に対しまして1,391万3,000円の減、長岡京市で3,326万4,000円の増、大山崎町で1,935万1,000円の減という内容でございます。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 計算上は入ってないかと思うんですけども、前回は聞いてました承諾事業所、許可業者経由の分の搬入される量と料金の関係なんですけどね、それは出ていたら教えてほしいのですけど。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 令和3年度当初予算の許可業者の手数料といたしましては、8,394トンに対しまして1億2,886万1,400円の収入。

承諾事業所につきましては、1,483トンに対しまして、収入といたしましては3,836万円の収入でございます。

以上でございます。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 あとは、その結果また決算で出るとは思いますけども、今の7ページの手数料なんですけど、367万増となっておりますね。金額もお聞きしたのですけれども、承諾事業所と許可業者の搬入量の増減なり傾向なんていうのは、前年当初と比べて出ていたら聞きたいのですけど。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 令和2年と3年の当初比較でございます。

承諾事業所で約320トンの増となっております、29%。許可業者で約490トンの減、マイナス5.5%の減ということになっております。

以上です。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 分かりました。それで、それらを基に要するに分担金の関係なんですけども前回のときに、組合規約13条に分担金のこといろいろ書いてありまして、分担として管理者が組合議会の議決を経て決めると定める賦課金徴収条例があるので、そこで市町の分担割合が定まっているとこうなっていますよね。改正するには、理事者提

案あるいは場合によっては議員提案による議決もあり得るかと思うんですけど、今のこの間もずっと分担金の搬入量割で考えたかどうかということに対して、理事者側から検討の上提案しようという、今のこの段階で考えている方向はあるのでしょうか。まだそこまで行ってないということなんでしょうか。端的で結構です。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 まだ現段階につきましては、協議の段階であるというところがございますが、しかし議会の中でご指摘をいただいている内容でもございますので、より開かれた内容で整理をしてみたいとそうように考えておりますし、また内容によっては議会の方にご提案をさせていただくということも考えております。以上でございます。

○富岡浩史議長 浜野議員。

○浜野利夫議員 もう一つ、7ページの物品売払収入の有価物の売払代金なんですけども、前年当初比で186万増に予算計上がされているんですけど、先ほどありましたように、補正でもありましたけど、単価が大幅下落ということになってますけども、実際は容器協会との関係をのければ、ガラス以外は全部かなり跳ね上がった単価になっている関係で186万増というのは結果なんですけど、年に2回ですか単価修正とかされたかと思うんですけど、この年度で予算当初は180万増ですけど最終、年度末見通したらこの有価物の売払代金というのが減っていくのか増えるのか、この段階で予算立てのときにされている予想で結構ですので聞きたいんですけど。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 当初予算積算時にあたりましては、搬出量増傾向で見込んでおります。単価も増で見込んでおります。以上です。

○富岡浩史議長 どうぞ。

○浜野利夫議員 分かりました。それと、さっき事務局長の説明で聞きたいことを言うてはったんですけど、古紙回収売払収入が予算計上では2,000円で前年同額なんですよね、計上が。元年度の決算でも3,380円とほとんど変わらんぐらいの額で落ちていたんですけども、これは結局、古紙類というのはこの組合の中で出る分だけしかないということなんでしょうか。

○富岡浩史議長 松井政策推進課長。

○松井 貢政策推進課長 おっしゃるとおりでございます。

○浜野利夫議員 それで、これ長岡しか分かりませんが、長岡は段ボールとか古紙類は別個業者と契約してるんですね。ただ、こっちには搬入されずに他のルートで処理されている経緯があるんですけど、そういう意味で古紙類、段ボールというのは自治会、子供会で長岡の場合取り組んでいる分を全部こちら側に寄せてしまうと、収入減になっている現実があるのでそれはできないにしても、少なくとも公共施設の分はコントロールして、それこそ作業部会とか事務連絡会等で公共施設に関するものは古紙類、段ボール類、こちらで収集しながら売却することは考えようがないのでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 今の現状におきましても、各市町から出る事務所から出る古紙また段ボール等につきましては、内容に応じて機密文書を含めて溶解処理等されておるかと思えます。そういった部分の今までの経過を踏まえまして、それと本組合の今の事務処理で出てくる古紙の処理の経過を踏まえまして、一定整理をしてまいりたいと考えておりますが、ただ、やはり今の古紙の関係、市町の方でも独自の取組をしている状況の中で、少なからずそれぞれの収入にもなっているということも考えますと、その辺は一定整理をしていきたい対応でもございますし、継続ということも一つの考え方だろうというふうに考えております。

○浜野利夫議員 はい、分かりました。市町の住民の関係はそんなんで、むしろカットするとかえってよくない要素がたくさんありますので、とにかく今言っていましたのは役場を含めた公共施設の関係、長岡がやりましたように直接業者と契約して別ルートで処理されているんです。だから公共施設の関係については、それほど業者とうまくセッティングさえできればクリアできることかなと、ただ、ここのストックヤードで置場とかいろんな問題があるでしょうし単純にはいかないと思うんですけども、それも今財源がなかなか大変な中では、組合としてそういう財源を公共施設の中の分はこちらに収集するという事は、財源確保的にはあり得る話かなと思うんですけど、是非検討をお願いしたいと思うんですけど、いかがでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 もちろん公共施設のものを組合の方に搬入をいただいて、それをまた再生の方に売り払いをするという収入というのは一定あるかと思えます。しかしながら、施設の維持管理またその人員配置等々を考えますと、やはり費用対効果を十分検証する中で方向性を整理しておられる、そのように考えております。

○富岡浩史議長 いいですか。

○浜野利夫議員 もうやめておきますから、15年の処理計画の中では是非検討、15年間ありますからね。是非、考えてほしいということにしておきますのでよろしくお願ひします。

○富岡浩史議長 以上ですか。

○浜野利夫議員 歳入は歳出の後やね。

○富岡浩史議長 歳出の後です。

○浜野利夫議員 終わりです。

○富岡浩史議長 他に、ございませんか。

井上議員。

○井上治夫議員 先ほど市町負担金のことですけどね、今、長岡京市で指定ごみ袋透明のやつでごみが減っているという話があって、やっぱり大山崎でもそのことが今議論になってまして、住民的にはやっぱりごみをどう減らしていくかというのは大事なことやと

思ってるんですね。そういう意味で、減らした場合にプラが増えて費用がどうなるかも含めて、ごみを減らせば支出も減るから町民にその分返ってきて、こういう施策ができますよということが見えるほうがお互いにごみを減らしていこうという機運は高まると思いますので、そういう意味での負担割合というか搬入量に持って行ってもらうようにお願いしたいというのが1つ要望しておきます。

併せて、どのようにごみがプラ出たやつが最終処理されているかということも含めて、その中身を乙環議員はここで聞くことができるので、できれば二市一町の議員全部で研修会とかそういう形も持たせてもらって、みんなでやっぱり乙訓全体のごみを減らしていくということができるような取組も要望しておきますので、よろしくをお願いします。

○富岡浩史議長 要望です。他にございませんか。

太田議員。

○太田秀明議員 先ほどの分担金ですけども、組合規約には関係市町の分担方法は管理者が組合間で議決を経て決めると、こうなってます。前から申し上げているように、答弁はやっぱり管理者がするべきであって、事務局長がするべきではないと思っています。そこで、今のようなその搬入割でかなり数値の変化が見られる、そのことを管理者はどういうふうに関後対処をなさるつもりか、その辺をお伺いしたい。

○富岡浩史議長 前川管理者。

○前川 光管理者 基本は、設立趣旨が人口割・均等割によっては組合を設立していますので、その趣旨が今も貫かれておるとしています。ただし、今ご助言で出ていますように、量によって検討していく必要があるんじゃないかというご意見も賜ったので、今研究しているところでございます。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 設立趣旨というか、それは分かるんですけど、その実績がなかったらどうしても人口割になるということじゃないですか。長年の経過を経て、実際にそれにそごが生じているということになったら、やっぱり軌道修正すべきだと思うんですね。本来はそうですね。だから、そこでもって、この搬入割が過去どういう形できたのかという数字は出てないですね。人口割を搬入割に置き換えた場合には、どうなったかという数字は出てないですね。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 以前、何年か前に議会の中でそういうご質疑がございまして、一定算出した経緯がございしますが、人口割またごみ量割、それぞれの数字で算出したという経過はございません。

○富岡浩史議長 太田秀明議員。

○太田秀明議員 それでかなりの齟齬が出ているということですよ。だから、それをやっぱり実態に合わせたシステムを作っていくないと、不平等が生じたままずっと今日に来る、あるいはまたその搬入量をもしすれば、この前も意見が出てましたけども、やは

り減量に努力しようという意識は各市民により一層芽生えてくるのではないかなというふうに思いますし、是非早急に検討していただきたいなというふうに思います。

○富岡浩史議長 要望です。

○太田秀明議員 はい。

○富岡浩史議長 他ございませんか。

ないようですので、それでは歳入を閉じます。

次に、歳出についての質疑を行います。ページ数は9ページから22ページになります。ページ数をお願いいたします。ご質疑ございませんか。

岸議員。

○岸 孝雄議員 まず11ページ、お願いできますでしょうか。

安全衛生管理事業についてというところですが、まず安全管理指導委託料67万8,000円。この内容は、参考資料8ページを拝見すると、安全衛生推進委員会に出席してのことなんですけども、これは何ですか。何かリスクアセスメントか何かの実施をされているという理解でいいのですか。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 安全衛生推進委員会には、顧問として出席をいただきまして、毎月開催されます定例の会議に出席をいただきまして、年間を通じて安全衛生に対する助言なり手法等をいただいております。

さらに、過去にはリスクアセスメントの研修等も実施をいただいております。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 リスクアセスメントが実施をされているということですか。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 特定化学物質についてのリスクアセスメントは実施をいたしておりますが、その他のリスクアセスメントについては研修の方はいただきまして、随時進めていくようなことになっております。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 続きまして、13ページになります。

一般廃棄物処理基本計画等策定業務委託料で、令和3年度435万6,000円計上されております。私、前2年間ちょっと大山崎町の監査委員をやっていた関係で、その前の2年はずっとお世話になっていたんですけど、この間ちょっと空白期間ができていたのですが、この処理基本計画、今、進捗状況はどのような状況なのでしょうか。

○富岡浩史議長 松井政策推進課長。

○松井 貢政策推進課長 まず、基本計画の関係でございまして、処理及び生活排水に関わる基本計画策定業務では、現状把握のために過去のデータ収集と解析を行って将来予測を行うとともに減量等につなげる施策や目標物の検討を行うため、市町別で先ほども申しましたように家庭系・事業系からのごみの分析の実施を夏と冬に2回行いました。

施設整備基本構想の策定業務については、こちらも施設の現状把握、稼働状況、補修履歴、それと精密機能検査の結果等々、データ収集と解析を行う中で長寿命化を見据えた将来の施設整備事業を検討するとともに、配置検討に関わる敷地条件と整備や先進技術調査等を行いました。

先ほども何度かお話があったと思いますが、令和2年度については現状の把握、基本計画についても整備構想についても現状の把握が主な業務となっております。

以上です。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 先ほどご答弁いただいた内容ですが、焼却施設の長寿命化であったり、あるいは焼却した後の焼却灰の最終処分、この2つの大きな業務であろうと思いますが、いずれを取りましても100億単位、非常に大きな費用が今後かかってくるものと想定されます。現状把握されているデータだったり、こういったものがこの組合議会の方には定期的にご報告等々はいただいているのでしょうか。

○富岡浩史議長 松井政策推進課長。

○松井 貢政策推進課長 冒頭、管理者の方の諸報告でございましたように、今後、今現在、今年度の報告書等の取りまとめを行っているところでございまして、報告書を作成次第議会等にもご報告の予定はさせていただいております。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 先ほど来、複数の議員の方から分担金の搬入量割への意向の議論とか出てますように、構成市町にとっては非常にごみの処理に係る分担金というのはやはり大きな負担になっていくところでございます。

今後、このいわゆる乙環分担金というかごみ処理に係る費用が、どのように我々の方に、当然排出しているのは我々なんですけれども負担が増えてくるのかという、やはり大きな関心となりますので、これは是非、この組合議会を通して構成市町の方に情報をフィードバックいただきたいと思いますが、この辺りについてご見解はいかがでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 ただいまのご指摘にございましたとおり、もちろん各市町また組合担当者の中で議論をさせていただいている内容でもございますので、もちろん議会の方にもご報告をさせていただきながら、市町の方にも情報の方は提供していきたい、そのように考えております。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 大山崎の方でも、いわゆる指定袋の導入、またその先にあるいわゆる適正負担という議論も論点として持っている議員も複数いる状況でございます。できましたら、こういった持続可能な町政運営、市政運営していく上では不可欠な情報ですので、是非、適地適時ご開示いただけるように要望させていただきます。

○富岡浩史議長 はい、要望です。よろしいですか。引き続き。

○岸 孝雄議員 いいですか。お許しをいただきましたので、引き続き質問させていただきたいと思います。

予算書の21ページ、廃棄物埋立処分事業ということで委託料6,589万4,000円というのが出ていますが、先ほど来お話に出ております、フェニックスの今後の収容量というか、フェニックスに搬入できる見込み、それからフェニックスに搬入するにあたっての処分費の動向、これはどのように今の段階で想定されているのか。可能な限り。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 フェニックスは今現在、第2期の計画中でございます。この2期の計画は、令和14年度まで埋立処分を行なう予定でございます。

今現在、3期計画に向けて大阪湾フェニックスの方でアセスを実施されて、準備書、評価書の作成、基本計画の作成の準備に取りかかっているというふうに聞いております。

また、3期に関しましては、これも推測の話なんですけども、令和6年頃から工事の着手をされるのではないかと、約8年かけて工事を完了して、2期計画終了後となる令和14年度以降に3期計画を始められるというふうに伺っております。

あとフェニックスへの搬入の委託の料金ですけれども、現在1万1,100円でございます。消費税込みで。過去からの経緯では、初めは4,000円台でしたが、5,000円、7,000円、9,000円、1万円と値が上がってきておりますが、今後の見通しにつきましてはわかっておりません。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 令和14年度に順調にいけば3期計画共有開始ということですが、すみません、私の情報が4年前から止まってないのであれば教えていただきたいのですが、今2期の産廃枠を一部入れさせていただいて何とか搬入させていただいている状況ということですが、これ14年までは今の搬入量は担保される見込みというのは、どういう見通しでしょうか。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 今、議員がおっしゃいました産廃枠約190万 m^3 、これを一廃枠に振り分けられまして、168の市町村で分割して埋め立てております結果、組合は、約5年間の延長となりましたので、令和9年から令和14年まで、5年間の延長ということでございます。

あと、これからの予定につきましては、3期計画では、1,200万 m^3 を予定されております。先20年を埋め立てられる期間としてフェニックスの方では考えておられるということが今分かっています。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 自前の最終処分地、勝竜寺の処分地の方は聞いている限りでは、今のこ

の範囲の埋め方でいくと残余年数で約5年強と伺っております。

その後については、ちょっと自前の処分地が今ないように伺っているんですけども、自前の最終処分地を長期的に所有するという方向性はお持ちでしょうか。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 先ほどフェニックスの5年延長に関連しまして、勝竜寺埋立地は令和22年4月を満了予定としております。約9年延長されたということでございます。

ということで終わります。

○富岡浩史議長 よろしいですか。岸議員。

○岸 孝雄議員 ありがとうございます。

続きまして、今の勝竜寺の埋立地のちょっと現状についてお伺いしたいのですが、参考資料の9ページ、埋立地管理費の説明のところで、環境関連測定委託料、これは勝竜寺の恐らく処分地の地下水のくみ上げの水質管理やと思うのですが、原水、処理水及び観測孔水の水質測定ということで230万計上されてます。直近1年間でいいんですが、この観測孔水の水量、それから水質の測定値の変動状況、これ何か特段大きな動きはありませんでしたでしょうか。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 埋立地の観測孔の測定等は、毎月行っているもの、数か月に1回行っているものもございます。月によっては多少変動しているものもございますが、そこにつきましては調査をかけるなりして、京都府の指導をいただくなど連携を取りまして、確認の方をさせていただいているというところでございます。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 この取水地というか測定するポイント、この周辺の地下水、例えば長岡京市さんにおけるくみ上げ井戸もあるかもしれません。大山崎町における水道水くみ上げ井戸あるかもしれません。この周辺の地下水のいわゆる含有物質の変動、この辺情報共有はされてますでしょうか。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 情報共有の方は毎月採取しまして、データと報告の方をさせていただいております。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 乙環の最終処分地から多分起因すると思われる測定物質水道法に基づくと多分52物質、これ測定されているかと思うんですけども、乙環の水質測定とその周辺の地下水の井戸水、この含まれる物質の変動、何かないですか。本心は乙環からいわゆる懸念物質が他の地域の地下水に影響してませんかというのがこの趣旨ですけど。この辺りでいかがでしょう。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 乙環の中の原水と外の地下水との水質検査を委託しております。埋立地の原水は特段問題ございませんが、外側の地下水につきましては多少変動もあるかということがございますので、これにつきましては、中と外の水質を見比べて、なおかつ必要であれば再確認する、再測定するなりいうふうにして対応の方をしております。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 最後にさせていただきます。

今のご答弁の内容ですけれども、直近1年は結構です。特段、何か懸念を示すような変動はございませんでしたでしょうか。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 最近では、外側の地下水の方でヒ素が0.01対しまして0.017という数字が出ております。

組合の中の勝竜寺埋立地の中の水質とは全然かけ離れた数字でございますので、中からの外への流出はないと思っておりますが、それも含めて京都府の方に連絡しておりますので、再測定を行い、経過を見たいと思っております。

○富岡浩史議長 岸議員。

○岸 孝雄議員 ありがとうございます。大山崎町もまだ水道水については地下水というくみ上げで使っている関係で、もし水質に問題があるようであればまた適時構成市町の方にコミュニケーションというかご連絡いただくようよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○富岡浩史議長 他ございませんか。

よろしいですか、どうぞ。

○太田秀明議員 参考資料の9ページのガラス処分委託料、これはどういうガラスなんですか。これをお聞きします。

○富岡浩史議長 藪下施設業務課主幹。

○藪下施設業務課主幹 ガラス処分委託料と申しますのは、リサイクルプラザに搬入されましたビンに4種類のビンに分けております。無色・茶・緑・その他の色というふうに分けておりますが、その他の色についてはリサイクル協会の方へ委託処理をしております、その委託処理をする費用がこのガラス処分委託料でございます。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 緑までは販売できるという、リサイクルをしているという。

○富岡浩史議長 藪下施設業務課主幹。

○藪下施設業務課主幹 そのとおりでございます。

○太田秀明議員 それで前回、二市一町の分類方法が違うということで、長岡方式は時間を決めて別枠でやっているということで、やはり二市一町統一したらどうかという意見を申し上げました。そこで私なりにちょっと調べてみました。現場の人の意見も聞きながら、こうすべきではないかなということは今から申し上げたいなというふうに思いま

す。

長岡方式が3種類、透明・茶・その他、別々に搬入されています。向日市、大山崎はビンが混合である。現場の人に資源化率あるいは仕事のやりやすさといえますか、どちらがいいかという、やはり長岡方式が優れているということをおっしゃっていました。なぜかという、混合で来た場合はどうしても搬入時にガラスですから細かく割れます。そうすると、いろんな破片が出てくる。コンベアで小さなものはふるいにかけて落として、最終は人が選別するという形です。そこで、どうしても細かい部分は分けにくいということで、そこで混合でない、例えば透明なら透明を流し込んだ場合は、ふるいにかけてそのままだと出ていくと、だから全て資源化になるということですから、その長岡方式は資源化率に貢献するという、仕事もしやすいということ。それを見た場合には、ビンについては長岡方式に向日市も大山崎も合わせていく。そうすると資源化率が高まる。ところが、缶と鉄とアルミについては、どうも分別しても意味がないという。分別してもしなくても効果は一緒だということになると、混合で行ったほうが良いのではないか。長岡は、缶とアルミとあるいは他にスプレー缶も分別されている。それはその方が危険を排するのに良いと、ところが大山崎と向日市は、スプレーも一緒に混合で入れているようです。ですから、大山崎と向日市は、缶、鉄とアルミは混合でも良いですけども、スプレーあるいは危険物は取り除いて別の分類にするということが、一番好ましいのではないかなというふうに思うんです。

そこで、一番良い方法を採用して統一していくと。向日市、大山崎は、今度は構成団体の方で費用負担が膨れる可能性があります。だから、その辺のところも細かく計算しながら検討しながら、是非、分別は統一していただけないかなというふうに思うのですが、管理者、副管理者、いかがでしょうか。

○富岡浩史議長 前川管理者。

○前川 光管理者 今、お伺いしましたご意見を参考に、今後研究していく必要があろうかと思しますので、市町会の方でも検討課題にしていきたいと思っております。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 ところで、私は現場を見てそう思ったのですが、実際の事務にあるいは現場に携わっている人はどういう意見なのかということもお聞きして、もしそういうふうにするべきだとしたら、やはり合意できることはこれから長期にかけて検討するというのではなくて、即やっていたきたいなというふうに思うんです。ですから、まず現場の方のご意見を聞いて、その後また管理者、これは二市一町ですから副管理者の意見もお伺いしたいというふうに思います。

○富岡浩史議長 現場の意見。河野事務局長。

○河野一武事務局長 ただいま、ご指摘をいただいておりますとおり、最終的な方向性を整理する折には現場の意見も十分鑑みながら、合わすようにしていきたいというふうに思っております。

○富岡浩史議長 前川管理者。

○前川 光管理者 今、おっしゃることは研究する必要があると思いますので、十分研究させて二市一町、ただ、処理に関しては市町それぞれ別々にしておりますので、それぞれが判断してやっていく必要があるし、ただ乙環としても、それなりの助言はする必要があろうかなと思っております。

○富岡浩史議長 中小路副管理者。

○中小路健吾副管理者 ご指摘のとおり、やはり分別の方法について研究調査をしていかなければなりませんし、それぞれの市町での収集のコスト等も勘案しなければならないと。

もう1点、やっぱり考えなければならないのは、今後のそれぞれの施設投資についてまさに来年度検討していくわけでありまして、今ご指摘の分は多分現況の施設での処理を前提に考えれば多分そういう提案になろうかと思っておりますので、その辺り、今後どうするかも含めて判断をしていくのが私は望ましいのではないかなと考えているところであります。以上です。

○富岡浩史議長 安田副管理者。

○安田 守副管理者 一番は、構成市町の状況だと思います。できること、どこが何ができるのか、そのスペース、人員の関係、いろいろあると思いますし、それを考えていかなければならないと思っておりますが、基本的には統一するべきだとは以前から思っておりますので、それはそれでいいと思います。今、中小路副管理者が言われたように、今後、このリサイクルというのはどういうふうはこの乙環でやっていくのかというのがまだ決まっておられませんので、それを基に統一していく方がいいのではないかなと思っております。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 ありがとうございます。やはり、乙環は分担金をもらっているので遠慮しているのかなという、午前中の意見を感じるのですけれども、やはりここは乙環議会ですから管理者も副管理者も乙環の人なんですよね。我々も乙環の議員であって、職員の人も乙環の職員、ですから、乙環のためにはどうしたらいいかということを優先して、意見を言う。これは遠慮ではなくて、現状の声を皆さんに聞いていただくという意味合いで私を感じ取った処理方法、それに対してどういうお考えか、その方が好ましいのか好ましくないのか。一番よくご存じなので、お答えをいただけたらありがたいなど。

そして、それがもしよければ積極的にその方向性に持っていけばいいということが、好ましいのではないかなというふうに私は思うんですよね。この話をして、いつまでも同じような状態が続いているだけの話で、一向に解決しないことだけが現実として残っているという意味合いも含めて、前向きなご答弁はいいと思うんですけれども、実際に行動に移すかどうかという話なんです。それをやはり乙環側が、いろんな総合的に判断して是非二市一町にこうしてほしいということ、依頼をしていくということが必要だ

と思うんです。だから、そこを力強く主張していただけないかなというふうに思うのですが、いかがでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 ただいま、ご指摘がございましたとおり、平成13年度から長岡京市さんの方が色別回収をスタートされております。その当時、平成12年度の缶・ビン類の回収率につきましては約60%、13年度につきましては約80%、現状に至っては90%以上というような回収率の数字が延びてきているというのが、現実としてございます。そういったところも十分組合の方から市町の方に発信をさせていただきながら、やはりごみのリサイクル分別という部分を促進する観点の中からよりよい方向性を整理をしてまいりたい、そのように考えておりますし、情報につきましては十分発信をしていきたい、そのように考えております。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 ありがとうございます。管理者、副管理者の方からも検討する、統一が好ましいという声も出てましたので、当然、今後のことも加味しながら早急に具体、具現化を図っていただきたいなというふうに思います。

それともう1点、以前にも申し上げましたけども、乙環は随契が非常に多いと、これはいろんな方が指摘をするんですけども、随契が多いからどうかということはないんですけど、やっぱり随契が多いと何か疑念の目で見られる人が多いです。ですから、それを払拭するためにも、なぜ随契にしたのかという理由を公表すべきだと思います。この前の報告では、文書では公表しているとおっしゃってますね。違いますか。その理由、選択の理由。それをやっぱりホームページで誰でも見られるようにしておくというのが必要なわけです。それは、規則に則ってそうしていくということで前回申し上げましたよね。あれから数か月経っておりますので、今後、当初予算も今審議している最中ですから、どのように組み込んで行かれるのかお伺いしたいと思います。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 前回の議会でもご指摘いただいているところでございますけれども、まず随意契約の公表につきましては、乙訓環境衛生組合契約規則で定めておりますのは、地方自治法施行令167条の2第1項第3号または第4号に係る随契のみでございます。

その随意契約の内容については、公表をいたしております。その他、発注見通し、こちらは公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律、こちらの規定に基づいて公表しております発注見通しの契約の内容につきましても、こちらも公表しております。

ないし、前回の議会でも申し上げたとおり、公示版及び閲覧コーナーということで、こちらの方にご来場いただいて見ていただけるような形になっておりますので、ホームページの方で公表させていただくことで、今現在準備の方を進めております。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 それはただ文章を見ておりませんが、そこに規則に則ってなぜとい

う理由を載せなさい、理由を公表しなさいと書いてありますよね。それをされている。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 公表しているものについては、随契の理由は明記しております。

○太田秀明議員 理由を具体的にということですね。

○古賀一徳総務課長 はい。記載をいたしております。

○太田秀明議員 それをそのまま、ホームページで見られる時期はいつ頃なんですか。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 令和3年度当初予算の方に、ホームページの改修の関係で委託料を上げておりますけれども、そちらの方でリサイクルフェアのインターネット開催を含め、ホームページの内容の方、更新をする予定をいたしております。

今現在、ホームページの方の組み込みといいますか、構成をちょっと見直す中で進めていますので、令和3年度のなるべく早い段階で公表させていただくような形で今準備を進めております。

○富岡浩史議長 いかがですか。他にございませんか。

井上議員。

○井上治夫議員 17ページに公害健康被害補償事業というのがあるんですけども、調べた範囲で95万から57万、52万と減ってきていると思うんですけども、これはどういうことなのか、聞いていいですか。

○富岡浩史議長 服部施設業務課長。

○服部 潤施設業務課長 負荷量賦課金52万5,000円ですね。こちらにつきましては、組合から排出されます硫黄酸化物の排出量によって左右されるところでございます。こちらにつきましては、独立行政法人環境再生保全機構というところで運営されております。組合から出る硫黄酸化物の量794m³に係る賦課金となります。年々減少傾向になってきております。

○富岡浩史議長 井上議員。

○井上治夫議員 そういう意味で、公害とかが減ってきているということであれば、12ページの前から指摘しているんだけど、地域補償費というのも減ってきて僕はいいのではないかと考えるのですが、その辺はずっと継続せなあかんという中身なのか、そういうことがきれいな空気を汚さないのだったら地域補償費も減らしていくという考え方というのは成り立つのではないと思うのですが、どうでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 ただいま、服部課長の方からもご説明をさせていただきましたが、あくまでも要は煙突から出る硫黄酸化物量は減少傾向にあるということでございますが、やはり排水の関係も出てまいります。そういった総合的な判断の中で、やはり地域にご協力をいただいた経緯がございますので、そういった部分も十分整理をさせていただきながら進めていきたいと考えておりますし、また、ただいまの地域補償の関係につきま

しては、以前よりご意見もいただいております。そういったところも含めて、今後十分検討をして参りたいと、このように考えております。

○富岡浩史議長 井上議員。

○井上治夫議員 硫黄が減ってきたというより、もしも被害があるならばそれを減らしていく方向でやっぱり乙環としても努力していくべきだし、そしてその補償も減らしていくということが大事ななと思いますので、よろしくをお願いします。

あと、この地域補償の場合に2自治会と1区というのでよかったですか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 ご指摘のとおりでございます。

○富岡浩史議長 井上議員。

○井上治夫議員 それは何か、自治会と区というのはどういう、自治会にそろえるとか僕は前からできれば地方自治体に下ろして、そこからという思いを持っているのですけれども、少なくとも区というのは他が自治会であれば、そこも自治会でという形でそろえることは難しいのでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 地域補償の関係は、数十年前から続いているような状況でございます。やっぱり組合の立地当時から各自治会さんにご協力をいただいていた経緯、それと今現在は区という形になっておりますが、当時の農家組合の方にもご協力をいただいたという経緯がございますので、今現状につきましては2自治会と1つの区という形で、今現在継続をしているというような状況でございます。

○富岡浩史議長 井上議員。

○井上治夫議員 経過は分かりましたので、是非その辺も自治会にあれば会計も全部見えますけども、先ほどもあったように、各市から税金をかなり投入している事業ですので、住民に分かりやすい会計ができるように要望しておきます。それでよろしくをお願いします。

○富岡浩史議長 要望です。よろしいですか。他ございませんか。

富田議員。

○富田達也議員 その地域補償費でもう少し聞きたいのですが、これ今現在の実害というか何かありますか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 現在、具体的に例えば環境汚染があるとか、そういったことはございません。ただ、当時からの経緯、それと強いて言えば、例えば臭いがするとか、そういったところはやはり近隣の地域でございますのであろうかと思えます。

○富岡浩史議長 富田議員。

○富田達也議員 臭いとかだけであれば、今久貝とか挙げていると思うんですけど、これ以外の地域でも臭いがしているというところも聞いたりもしますし、やっぱり先ほどか

らご答弁もあるので、これ以上言わないですけど、この地域補償費というのはもう少し考えていただいた方がいいんじゃないかなというふうに思います。

引き続きすみません。工芸教室のところなんですけども、これ見てたら計画で大分減っている状況だと思うんですけど、スタンドミラーで言えば増えてますけど、他で言えば大分減らしてきているのかなと思うんですけど、これはコロナの影響で減らしているとかそういうことですか。

○富岡浩史議長 松井政策推進課長。

○松井 貢政策推進課長 議員おっしゃるとおりでございまして、コロナの関係で定員数を見直したりとか、あと教室の開催については、夏休みを中心とした親子体験教室を中心に、令和3年度については開催の実施を計画させていただきました。

○富岡浩史議長 富田議員。

○富田達也議員 そもそも工芸教室の開催目的というのは、何なんですか。

○富岡浩史議長 松井政策推進課長。

○松井 貢政策推進課長 廃棄物で出ました、こちらに入っております廃ビン、ガラスビンとかを利用した上で、そういったガラス細工を作成していただいて、リサイクルの意識を高めていただくというような内容を目的に開催をさせていただいております。

○富岡浩史議長 富田議員。

○富田達也議員 コロナの関係で厳しいというのは重々承知なんですけども、その目的を達成するために減らすということだけではなくて、何かもう少し手だてがないのかなというふうに感じますので、この辺りをもう少し考えていただけたらと思いますので、要望だけさせていただきます。以上です。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

○富田達也議員 はい。

○富岡浩史議長 他ございませんか。

浜野議員。

○浜野利夫議員 1つだけなんですけども、11ページ総務費一般管理費の庁内清掃委託料の関係、これ毎回言っているので一つずつ言いません、まとめて言います。

4月分というのは、どうしても継続性があるから随契にせざる得ないという理解します。でも、5月から3月までというのは、まとめて言ってますけど、今の11ページだけではなくて各分野で全部ありますね。庁内清掃。一番客観的に一般競争するのは可能な分野ではないかなと、専門性とか特許の関係は一切関係ないので、以前からできるところから一般競争入札と言われていたことなので、これ毎回言っているんですけど、一つずつ言いません、まとめて5月から3月の分は各市町の登録業者を設定した一般競争入札可能だと思うんですね。まだ、これからこの予算議決した後、スタートすることになると思いますので、そういう方向で指名競争入札ではなくて一般競争入札で市町の登録業者に限定した形で、何とかできる方向にこちらでかじを切ってほしいなど、他の

分野については特許その他で簡単にはいかないのも、確かに多いのも理解します。以前から、できるところから半分踏み出したので、これは理事者の方に方向だけ、思いだけ聞かせてほしいんですけど、担当の方はよろしいですので一番大事なところなので、今後15年計画を立てるときに一般競争は前から言われています。できるところからやろうという。ここから踏み出さなかったら、他からやりにくいと思うんです。そういう方向なり決意なりを、一言聞かせてもらったら結構なんですけど。

○富岡浩史議長 前川管理者。

○前川 光管理者 以前から指摘をいただいておりますので、できる限りそういう方向で検討してまいりたいと思います。分かりました。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

○浜野利夫議員 結構です。

○富岡浩史議長 他にございませんか。

太田議員。

○太田秀明議員 ごみの減量に関して、私、構成団体の方でも委員会でお話をしたんですけど、どなたもそうですけどもごみの減量をどうしてするのという話が、一般市民はごみをつくっているわけではない。何かを消費すればごみが出てくる。その消費する対象は、事業主が提供している。事業主が減量を想定して、いろんな無駄なものを使わなければ、消費者はごみを必然的に少なくできるということになるんですけど、乙環の条例には、減量と書いてあります。これは事業主にも、あるいは市民にも求める。そして乙環自体も、減量を推進しなければならないという条例が書いてある。

具体的にどうしたらいいのかという話になってくる。教えていただければありがたい。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 今現在、組合、各市町の方で取組をさせていただいている減量施策という内容でございますが、もちろんその分別の啓発事業というのは一つございますが、やはりその生ごみの、例えば水を切るというのも一つの大きな効果が出る、ごみの減量効果であるというふうにも考えておりますし、またそれ以外の関係につきましても、先ほど来からありました古紙関係とか、そういったできるだけ分けられるものについては分けて、資源の方に回していくというような分別の促進を図るところが本組合、また市町で言う減量に対する取組というような形で、今現在考えさせていただいているところでございます。

また、先ほど来ありますとおり、今回処理計画の方を新たに本会議でつくらせていただいている最中でございます。その中には、やはりより踏み込んだ減量施策の何か効果があるものにつきましては、十分検討する中で取組が導入できるものについては導入していきたい、そのように考えております。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 そうやって分別しても、できることはほぼやっていますよね。これは乙環

もそうですし、構成団体も市民もそうです。協力できるところは全て協力して。あとは、消費すれば出てくるもの、これはどうしても流通側に要請しないとできない話です。それが一番多いんですよ。ですから、それをやっぱり構成団体あるいは乙環を含めて、乙訓圏内の事業主に徹底した協力をいただくということだと思えます。言葉だけでは駄目なので、全ての販売方法を変えていかないと、これは大変なことだと思えます。ヨーロッパでは、トレーとかそうじゃなくて量り売りが主流になっているところもあります。できるだけ、お互いにごみを出さない、無駄をしない、これは国民も協力して事業主も協力してやる。それを乙訓管内で徹底してやれば、かなり減ってくると思えます。もともと出す方が出さないようにしていただければ、かなりのごみが減る。それはできることだと私は思うのですが、覚悟を決めて構成団体と協力してやらなければ、これは消費量にも関わってくる、売り上げにも関わってくる話なので、是非その辺のところを徹底してやっていただきたいなど、できるならば、全国で乙訓地域が模範となって、全国に広まるようなところまでやっていただければ素晴らしいなと思えますが、いかがでしょうか。

○富岡浩史議長 河野事務局長。

○河野一武事務局長 乙訓地域の中で、そういう取組をするというのも一つの方向性であるというふうにも考えております。また、京都府下の中でも、京都府を通じて減量施策というのは展開をされているところでございます。やはり京都府の方では、商工会議所、また乙訓管内におきましては商工会、そちらの方にいろいろとそういう要請の方をさせていただく中で、そういうできる限り減量効果につながるような取組を徹底して参りたいというふうにも考えておりますが、やはりどういった形でそれを進めていくかという部分につきましては、やはり一定各市町商工担当の方がおられますので、ご意見交換をさせていただいて、また正副管理者のご意見をお聞かせいただく中で、方向性を整理をしてみたい、そういうふうにも考えております。

○富岡浩史議長 よろしいですか。

○太田秀明議員 それぞれの管理者のお言葉を。

○富岡浩史議長 前川管理者。

○前川 光管理者 おっしゃることは重々わかります。ただし、例えば一つの例で言うと、亀岡市でもスーパーバッグを取り入れて、ただ、あそこはちょっと内容が違いますけれど導入できたのは、市として市長が力を発揮してされたからだと思いますので、それぞれの自治体に関して二市一町それぞれ首長がいまして、そこをそれぞれの市民の皆さんにご理解を得られながら、あるいは事業者の皆様にご理解を得られながら、そういう機運になる努力をしていって、そのときには導入するか何ができたらいと思っておりますので、現在はまだ厳しいのではないかなと思っております。

○富岡浩史議長 太田議員。

○太田秀明議員 是非、首長の力を発揮していただければありがたいなと思えます。以上

です。

○富岡浩史議長 よろしいですか。他にございませんか。

佐藤議員。

○佐藤新一議員 私も向日市で環境衛生委員会の中で、建設環境の中で発言させていただいているんですけど、それぞれの自治体は動きがあるんですけど、今日は乙環という乙訓の全体を統合する会議でもあるし、太田さんが一つごみの排出の製造元も含めて言っただけなんですけど、自治体としてできること、今地球温暖化がこれが統一して問題視されているし、そういう視点で是非乙環の二市一町それぞれ来られているんですけど、やはり力を合わせてそういうような形で、それこそ乙訓モデルじゃないけども、そういうような視点に立って、そうしないとそれぞれのところだけで言うと利害というんですか、関係があってなかなか足が踏み出せてないというのが実態やね。世界的にもどうか、ご存じのようにグレッタさんが言っているような若者が言っているような、本当に少々お金がかかってもと言うと語弊があるんですけど、そういうような視点に立ったようなごみ要請だけではなくて全体をやっつけようという、そういうような形になっていただければと、向日市では言わせていただいているんですけど、是非それぞれ市町でもお願いしたいなというように思っております。意見です。

○富岡浩史議長 意見です。他にございませんか。

ないようですので、質疑も尽きたようですので、歳出を閉じます。

それでは質疑を終わり、討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

討論もないようですので、討論を終わり採決いたします。

第4号議案について、原案どおり可決することに賛成の議員は挙手を願います。

(賛成者挙手)

全員賛成。よって、第4号議案、令和3年度乙訓環境衛生組合一般会計予算については、原案どおり可決されました。

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。この際でありますので、何か他にございませんか。

浜野議員。

○浜野利夫議員 この一般質問問題というのはずっと検討してきた経過があって、再度確認です。これは理事者側というよりも議会の問題だと思うんですけど、さっきの理事者側に一つお聞きしたいのは、3日前までに資料請求すれば本会議に間に合うという、前に聞いたんですけど、それは間違いはないですか。

○富岡浩史議長 古賀総務課長。

○古賀一徳総務課長 そのようになっております。

○浜野利夫議員 ということを踏まえて、後は議会の問題なんですけどね。今、議長が言われた、この際何かありませんか、その中身なんですけど、案内というか組合議会の日程がありますよね。これに、今まではその他という扱いでそういう中身だったんですけど、中身はそれなんですけどその他の項目として今、資料は3日前に言えば間に合うということを確認したんですけど、ここの業務も総務費・衛生費・事業費・公債費、これだけの区分なんです。だから、ここ、その他で例えばこの項目で所管事務ではないですけど、それぞれないですかというのを聞くなり、その関係で必要な資料は請求した方がスムーズだと思うんですけど、それは理事者側ではなくて議会の問題として代表幹事会で是非検討してほしいとお願いだけしておきます。

○富岡浩史議長 要望です。他にございませんか。

太田議員。

○太田秀明議員 かねがねというか、以前申し上げていたことなんですけども、3つの事務組合を統合して、中身をもっと濃くしたほうがいいのではないかなど、常々思っております、局長さんにもそのお話をしております。なかなか難しいということをお聞きしておりますが、それは各組合の議会の意向によるというご答弁もいただいておりますので、是非皆様方、ご検討いただければというふうに思います。

乙福も消防もそうですが、どうしても我々は構成団体の議員という意識が強くて、管理者もそうです。お互いに遠慮しながら結論を出していくというスタイルがまかり通っている。それを是非、是正したいという強い気持ちがございます。

ですから、3つの組合を統合して専任の管理者を設置するという形、専任の議会を設置する。あるいは議会をなくして構成団体で審議する。という方法がいろいろあります。是非、各議会でご検討いただければありがたいと思います。よろしく申し上げます。

○富岡浩史議長 他にございませんか。よろしいですか。

それでは、その他の項を閉じます。

ここで、前川管理者から発言の申出がございますので、これを許可いたします。

前川管理者。

○前川 光管理者 それでは、ただいま議長のお許しをいただきましたので、大変貴重なお時間を拝借いたしまして、退職いたします幹部職員のご報告を申し上げます。

本年3月31日付をもちまして、定年により退職いたします松井政策推進課長でございます。

○松井 貢政策推進課長 長い間ご指導いただき、またお世話になりました、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

○富岡浩史議長 これをもちまして、乙訓環境衛生組合議会令和3年第1回定例会を閉会いたします。大変ご苦労さまでした。

閉会 午後2時10分

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

乙訓環境衛生組合議会議長 富岡浩史

乙訓環境衛生組合議会議員 佐藤新一

乙訓環境衛生組合議会議員 島 一 嘉